岩田書院

地方史情報 103

2011年5月

地域の歴史に学び、地域の力を信じて苦難を乗り越えてください

飯澤 文夫

東日本大震災で被災された皆様、原発事故で被害に遭われておられる皆様に衷心お見舞申し上げます。併せて、救援、復興に日夜を違わず取り組んでおられる住民、関係者・機関、ボランティアをはじめ全ての方々に敬意を表する次第です。

被災地で活動される郷土史研究団体の多くは状況が分からず心配されます。福島県「いわき地方史研究会」の大竹憲二さんからは、幸い会員に犠牲者はない模様だが、会は機能停止状態であると伺いました。『地方史文献年鑑』の補充調査で協力いただいている宮城、福島、茨城などの県立図書館も甚大な被害を受けています。特に福島、茨城両図書館は再開の目処すら立っていません。さらに。多くの貴重な歴史資料や、地域の求心力である祭りの祭具などの民俗資料が失われたことも痛恨の極みです。

有史以来の地域災害については、これまでも郷土史の立場から数多くの研究がされています。４月15日付「朝日新聞」には、過去の経験から警鐘を鳴らし続けてきたいわき市平豊間地区区長 鈴木徳夫さんの無念さが紹介されています。鈴木さんは、この記憶が土地に長く受け継がれて欲しいと述べています。先日のＮＨＫテレビでは、ローソクの下で古老の昔語りに耳を傾け、共同体の絆を生かし、住民ひとり一人の役割を地域の力として災害に立ち向かう、陸前高田市長洞集落の様子が放映されました。

元明大図書館長の故 後藤総一郎先生が、地域の歴史を学び、経験を普遍化して、より良い共同体を形成していくことの大切さを説かれたことが思い起こされます。

そのような折り、この度私は、第13回図書館サポートフォーラム賞を戴きました。30年余に亘り「地域研究の基礎資料でありながら、ともすれば埋もれがちなこの種の雑誌を継続して発掘して刊行」（選定理由より）して来たことが評価されたものです。これは私一人の栄誉ではなく、強い意志と情熱によって出版を続けられる岩田博さんをはじめ、全国2000余の郷土史研究団体、図書館、個人協力者の方々などの支援の賜物であり、ここに改めて御礼を申し上げる次第です。

地域研究の成果を記録し、地域の歴史を学ぼうとする人たちの励みとなるよう、一層尽力して参りたいと決意を新たに致しています。被災地の皆様には、どうか地域の力を信じて、この苦難を乗り切ってくださるよう心から願っています。

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究
アイヌ語地名研究会（発売：北海道出版企画センター）　年5000円　1998年創刊
〒061-1448恵庭市相生町179-5　ハウスオブ恵庭105　渡辺隆方　℡0123-34-2130
〒062-0007札幌市豊平区美園七条１丁目3-1-507　高木崇世芝方　℡011-821-2831
◇13　2010.12　B５　121p　1800円
船越長首「札幌近郊の墨絵」について　工藤義衛／渡辺隆
タライカと敷香周辺のアイヌ語地名　伊藤せいち
松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(5)　平　隆一
難読旧地名「御卒別」に対する新たな考察　横平　弘
新冠・静内に語り継がれたアイヌ語彙地名　狩野　義美
ピパはカラスガイかカワシンジュガイか　早田　国光
訓子府の世界　戸部　千春
談話室
アンチ(黒曜石)のつく地名　伊藤せいち
談話室　古地図雑感　高木崇世芝

◆文化情報　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇323　2011.1　B４　8p
会長新年挨拶
創立50周年を迎えて　舟山　廣治
五十年の歴史を振り返って　山田　文明
「残したい」 市民の声で残った赤煉瓦建物—生活を豊かにする郷土の文化遺産　石垣　秀人
世界文化遺産への登録をめざして(3)—史跡鷲ノ木遺跡　北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課
平和への願いを込めて—平和祈念館　祈りは時を越えて　長万部町教育委員会
貴重な記録の散逸紛失の危惧　ふるさと館(幕別町)　佐久間　繁
産業遺産　函館市の産業遺産(5)—旧戸井線コンクリートアーチ橋　富岡由夫／山田大隆
子どもの文化財　愛護活動推進事業（長万部・蘭越町）
各団体の活動(12)　ＮＰＯ法人オホーツク文化協会　北網圏北見文化センターに於けるＮＰＯ活動　細野　義昭
第45回全道高等学校郷土研究発表大会が釧路で開催—釧路江南高校が郷土芸能部門10年連続最優秀賞受賞　矢崎　一人
地域の団体活動
北方民族文化シンポジウムが四半世紀／網走　山田　雅也
創立三十周年を迎える奈井江町郷土研究会　深井　旭
栗山町文化財保護委員会の活動　横田　直成
江差餅つき囃子—豪商の年越し風習を再生　松村　隆
炭鉱遺産を活かしたまちづくりをめざして　ＮＰＯ法人 炭鉱の記憶推進事業団
読者の声／会員の書籍紹介

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1
℡0152-45-3888　hoppohm.org
◇79　2010.12　A４　8p
第25回北方民族文化シンポジウム現代社会と先住民文化—観光、芸術から考える(2)　第1部「作品に表現されるもの」／第2部「伝統と創造」／第3部「現地と世界の市場」／第4部「芸術の枠組みを超えて」／総合質疑･討論　齋藤　玲子
特別展関連講習会「伝統のアイヌ文様と刺しゅう入門—カパラミプ技法による巾着づくり—」講師・津田命子氏　齋藤　玲子
第2回はくぶつかんまつり
企画展「草原のデザイン—モンゴルの切り絵と紋様」　中田　篤
企画展関連講座「くらしのなかのモンゴル紋様—展示解説とスライド＆トーク」講師・西村幹也氏　中田　篤
2010年度調査報告「サハ共和国・トンポ地区におけるエベンとトナカイ牧畜について」　中田　篤

◆北海道れきけん　北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方　℡011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/
◇75　2011.1　B５　8p
新年のごあいさつ　田中　貢
旧石器を求めて—湧別川流域の遺跡発掘の遠間栄治を追って　今野　淳子
随筆　シラオイ　地蔵　慶護
沖縄戦の実相　田中　貢
寄贈会報／事務局だより

◆いわて文化財　岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内　℡019-661-9688
◇241　2011.1　B５　12p
《正月特集　歴史に輝く平泉文化》
平泉を中心とする岩手の文化財の今後　達増　拓也
「平泉」世界遺産登録の道　菅原　正義
「南無」のこころ　菅野　澄順
世界遺産登録年を迎えて　藤里　明久
世界遺産への再挑戦　中村　英俊
愛護協会の役員　平泉を語る(上)
地上の浄土の願い地域住民も守り救う　相原康二／竹内重徳　阿部孝夫／一戸秀光
愛護協会の役員　平泉を語る(下)
施設づくりに寺側も支援を　経済と賑わいは文化の相乗効果　相原康二／竹内重徳　阿部孝夫／一戸秀光
これからの平泉文化遺産—座談会を傍聴して　加藤　章
続平泉志(5)　開山中尊寺(上)　及川　和哉
満席で神楽を堪能　県民俗芸能大会／89人がコース別に受講　笛の技術講習会　北上市

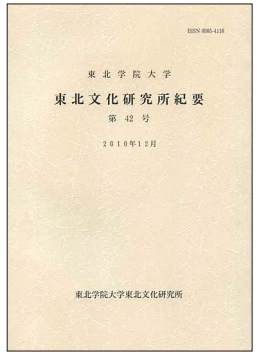
◆道鏡を守る会通信
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35

本田義幾方　℡0229-22-7364　年3000円
◇89　2011.1　B5　8p
本年もよろしくお願いします／道鏡情報
道鏡・清麻呂・八幡神とその時代—道鏡事件の真実　飯沼　賢司
平城京・幻の八角七重塔—古代ニッポン最後の女帝の夢　NHK BS放送資料より
天武王朝の興亡　はじめに　大塚泰二郎

◆とりら
ふるさと岩手の芸能とくらし研究会
〒020-0113盛岡市上田堤2-22-5　飯坂方
℡019-662-4513　2007年創刊
www.h3.dion.ne.jp/~iwagei/torira.htm
◇5　2010.12　B5　36p　500円
芝田流大巻御祝い　長澤　聖浩
盛岡の神楽(2)　黒石野神楽　岡田　現三
マンガ岩泉ものがたり　作るぞ！アワ餅　杉山　明弘
米と神楽　吉田　隆一
地産地消の鳥兜　飯坂　真紀
いわて芸能ごよみ／ブログとりら　ピックアップ／とりらの図書室　ほか

◆国史談話会雑誌　東北大学国史談話会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1
東北大学文学研究科日本史研究室気付
℡022-795-6064　1957年創刊
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/
◇51　2010.12　A5　172p
最終講義　古代史学と考古学のあいだで　今泉　隆雄
近世都市と越後縮—記述にみる「越後縮」認識の変容過程を中心に　宮田　直樹
仙台停車場位置変更問題にみる明治前期官民関係　手嶋　泰伸
村上啓一氏に聞く昭和初期の教科書編纂—『東北読本』および『初等科国史』編纂に関する回想　伊藤　大介
東北大学史料館所蔵「大島正隆文書」目録　佐竹輝昭／佐藤健治／曽根原理　七海雅人／柳原敏昭／山田仁史
歴史通信　仙台市博物館の展示室リニューアルについて　水野　沙織
紹　介　田代脩著『武蔵武士と戦乱の時代　中世の北武蔵』、江田郁夫著『下野の中世を旅する』星川　礼応　青山忠正著『幕末維新の個性7　高杉晋作と奇兵隊』　栗原伸一郎
同窓通信　「豊田武先生を偲ぶ会」と『追慕三十年』の刊行　田代　脩　大会記事・会員通信・研究室ノート・会員の出版状況

◆東北文化研究所紀要
東北学院大学東北文化研究所
〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1
℡022-264-6430　1969年創刊
◇42　2010.12　B5　98p
仙台藩近江飛び地とその周辺　野崎　常
人口減少時代を迎える東北地方の都市システムの動向　高野　岳彦
成長傾向にある福島あんぽ柿産地の存続基盤の諸特徴　酒井宣昭／梅津道彦
伝統漁撈をめぐる社会化(下･8)　大江　篤志
水害常襲地と元常襲地における住民の意識と対応　遠藤　尚
＊大震災への住民自身の備えや、国・自治体の対応のあり方が問われている今日、遠藤尚「水害常襲地と元常襲地における住民の意識と対応」は、極めてタイムリで示唆に富むものである。近年まで毎年のように頻繁に水害被災を受けてきた北上川中流域の岩手県川崎村薄衣地区（現・一関市川崎町薄衣）をフィールドに、地区住民、自治会長、区長へのアンケート調査、町役場・旧村役場、消防分署、農協関係者への聞き取りと、資料収集に基づき、被災地住民の意識と対応と、河川改修後の意識と対応の変化を丹念に分析したものである。調査に先立って、1974年の静岡県巴川流域豪雨被害ほかたくさんの全国各地における水害時の住民行動に関する先行研究を博捜し、本対象地域との相対化もなされている。当然のことながら、過去に被災にあったり、現在被災している者の意識は高く、対応策もとられているが、経験から遠ざかるにつれて意識は低下して行っている。そうした中でも、「住民側では体験談や対応策がある程度伝わっていくのに対し、行政側では過去の記録や今後の予測を現在の対応にあまり生かしていない」との結果を導き出していることは注目される。そして対応に当たっては、各地それぞれにおける洪水特性を正しく知ることが極めて重要であることを指摘する。さらに、今回の対象地域のように住民が長く定住し、住民側の対応が期待できる農村地域に対し、異動の激しい都市域では行政側の配慮がより必要になると述べる。住民自身の自助、地域共同体の共助、国・自治体の公助が一つの輪とならなければ本当の防災は成立しないことを教えられる。



◆ナジェージダ（希望）
石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方　℡045-773-4643
homepage2.nifty.com/deracine/
◇25　2010.12　A4　32p
特別寄稿　榎本武揚とニコライ・レザーノフ—「シベリア日記」を中心に　中村　喜和
『レザーノフの露日辞典』再読　木村　成忠
サーカスときどき漂流民—サンクト・ペテルブルグ紀行　大島　幹雄
コペンハーゲンからの手紙「ナジェージダ」最初の寄港地ドラゴー
特別寄稿　津太夫たち漂流民が見た気球　佐野　和敬
湊長安、鈴木周一よ、君たちは「環海異聞」を読んだか？　そしてクルーゼンシュテルン「世界周航記」の謎　佐藤三寿夫
万延元年、世界一周の記録を現代語訳『仙台藩士幕末世界一周　玉蟲左太夫外遊録』　千葉　由香
案内板　総会と講演会のお知らせ／「異国船渡来雑記」／森永貴子著「イルクーツク商人とキャフタ貿易」

◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-1341秋田県秋田市雄和新波本屋敷90
工藤一紘方　℡018-887-2007　1996年創刊

akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇45　2010.12　B5　26p
《秋のフォーラム特集
　秋田城下のくらし・文化　パートⅡ》
レンタルされる陪臣たち　半田　和彦
発掘調査から見る久保田城下の暮
　らしと文化　伊藤　武士
秋田城下のくらし、文化
　—成果と課題　塩谷　順耳
用語解説　伊勢の御師（おんし）・
　三日市太夫と久保倉太夫　半田　和彦
歴史情報
　平成22年度第2回秋田県公文書
　　館懇話会について　脇野　博
　幕末の秋田県と土佐藩史的条件
　　の共有について　伊藤　正
　茶谷十六氏秋田県文化功労賞を
　　受賞　田口勝一郎
　新刊紹介　湯川京著『筆の跡
　　湯川家文書を紐解く』
　　秋田姓氏家系研究会
　山形県地域史研究協議会の研究
　　動向　神宮　滋
　国指定名勝　旧池田氏庭園の洋
　　館修復—時代を超えて受け継
　　がれる文化財　高橋　一倫
　よこてアーカイブズ—映像と公
　　文書でみる「横手・平鹿」展　高本　明博
　陣館遺跡発掘調査成果速報（平
　　成22年12月現在）
　　横手市教育委員会文化財保護課
文献情報／催しもの情報

◆菅江真澄研究　菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55
古四王神社社務所内　℡018-845-0333
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇72　2010.12　B5　20p
本草とくすしの菅江真澄　佐藤　尚武
菅江真澄研究会　創立30周年記念
　集会を終えて　田口　昌樹
真澄短信／刊行物の紹介
真澄の一枚(4)「貝焼きと提」　菊地　利雄
雪形ウォッチングの開催案内

◆北方風土　北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254　森本彌吉　℡0187-85-4027
1980年創刊
◇61　2011.1　A5　133p　2000円
昭和後期秋田県の地域史研究(1)　田口勝一郎
雪にまつわる民俗語彙(4)　稲　雄次
秋田藩主佐竹氏の祖神参拝事例—
　鎌倉八幡、石清水八幡、新羅社
　　神宮　滋
七度半の使い　松橋　由雄
西和賀地方の大飢饉と一揆—それ
　にかかる沢内通りの歌の数々　高橋　暁樹
忠(佳)姫様の生きた時代　原　千秋
「北辺の茶」の話(1)　秋田県の部
　　相馬　登
胞衣(えな)は時空を旅する船
　—忘れられた胞衣の秘密　松橋　由雄
百家風発
　梅原猛先生と「梅友会」のこと
　　など　佐藤　貢
　白岩街道の跡　森本　彌吉
「北方風土」節目を秋田さきがけ
　紙を飾る　編　集　部

◆季刊東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター
（発売：柏書房）　〒990-9530山形県山形市
上桜田3-4-5　℡023-627-2168　年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇26　2011.2　A5　223p　2000円
《特集　縄文の河川景観》
対談　島と河川の東北縄文文化—
　貝塚・盛土遺構などの調査方法
　　岡村道雄／安斎正人
米代川水系の縄紋社会史—円筒土
　器文化から環状列石まで　小林　克
新井田川下流域における縄文・弥
　生集落　村木　淳
最上川水系の縄文遺跡—晩期・遺
　跡立地を中心として　小林　圭一
北上川流域の縄文集落遺跡　菅野　智則
信濃川水系—活動痕跡の動態から
　　佐藤　雅一
三面川流域の遺跡景観　富樫　秀之
〈小特集　日本文化のなかの生と死
　—中村生雄の仕事〉
講演　現代社会における生と死の
　営み—中村生雄の思い出のため
　に　山折　哲雄
中村生雄さんからの宿題　野本　寛一
供養から供養へ　原田　信男
いくつもの魂—中村生雄さんの学
　問の原動力　池上　良正
折口信夫のいう「古代」—中村生
　雄著『折口信夫の戦後天皇論』
　をめぐって　兵藤　裕己
オオカミをめぐる断章　三浦　佑之
最期の問いかけ　赤坂　憲雄
島からのことづて(2)　沖縄・伊
　江島—いくさ世をひきずってき
　た　安渓遊地／安渓貴子
東シナ海の古層(6)
　寄木—〈平島語字典〉から　稲垣　尚友
済州島の民俗(26)　上道里と下道
　里の天然肥料について—生業民
　俗論(19)　高　光敏
アジアの風のなかで(6)
　ポル・ポトのピアニスト　木村　文
博覧会の多様な姿とその変容過程
　（書評）　竹原　万雄
過疎の村の問題を正視（書評）　蛯原　一平
連載・写真曼荼羅(9)　新鋭篇(3)
　東北の大地—生命のマンダラ
　　佐藤優／内藤正敏

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　2002年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇10　2011.3　A4　115+17p
縄紋時代早期論（上）　安斎　正人
縄文時代前・中期の三内丸山集落
　生態系史　辻　誠一郎
近世後期の漁村における秩序認識
　—伊豆国内浦地域での漁場争論
　を事例に　中村　只吾
番外の民—中国雲南省紅河州金平
　県の「苦聡人」たち　謝　黎
戦後復興期の沖縄西表島における
　子どもたちの小動物捕獲　蛯原　一平
焼畑再考—山形県のカノ型焼畑の
　カブの食べ方と儀礼を通して　阿部　龍平
「木を割った磨製石斧」と、その
　後継器種　名久井文明
研究員プロフィール及び業績／平
　成22年度東北文化研究センター
　実績一覧／東北文化センターの
　機能／東北文化センター組織

◆南陽の歴史　南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方　℡0238-43-5299
◇181　2011.2　B5　10p
宮内熊野神社おぼえがき　台林院
　は證誠寺とも呼ばれていた？／

幕末の台林院住職「法田」につ
いての一資料／孫嫁の病気平癒
に大般若経／明治6年の宮内熊
野神社神殿再建　須崎　寛二
第203回学習会報告
宝暦・天明の飢饉
2011年南陽の歴史を語る会　総会
議案

◆真澄学
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　2004年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇6　2011.2　A5　246p　2000円
「いにしへ」探究の真澄の旅・学　菊池　勇夫
神宮寺嶽伝説と真澄　阿部　幹男
「草嶺」伝承と『月の出羽路・仙
北郡』—真澄の地誌を考えるた
めに　志立　正知
北奥における仏神と御霊飯と鍵懸
と　入間田宣夫
岩木山「お山参詣」における御来
光遥拝と草木採取について　小山　隆秀
菅江真澄の「八戸田植踊」と豊作
祈願の芸能　菊地　和博
菅江真澄がみた18世紀末の松前・
近蝦夷地の鱈漁業　田島　佳也
真澄の「ひがおもひ」—金花咲く
「みちのく山」探索　菊池　勇夫
秋田藩の冷泉派歌人
—真澄の記録から　細川　純子
研究ノート
宮本常一が語る菅家真澄　今石みぎわ
木貝と口琵琶—真澄の聴いた音
小林　文雄
近世東北の疱瘡対策　竹原　万雄
菅江真澄の人生
「菅江真澄」のペンネーム考　細川　純子
菅江真澄から近代史をさぐる(6)
五月鳥と早乙女花—田植の時節
菊池　勇夫

◆まんだら　東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇46　2011.2　B5　64p
《特集　風土としての東北》
もうひとつの山の歴史—山形の鉱
山と温泉　五十嵐利行／田宮良一
遠野の金属伝承　内藤　正敏
特別寄稿　坑夫が伝えた炭鉱の味
野添　憲治
平成22年度文部科学省オープン・
リサーチ・センター整備事業
「東北地方における環境・生
業・技術に関する歴史動態的
総合研究」 今、なぜケモノ
は里に下りるのか
イノシシとの新たなつきあいに
向けて　蛯原　一平
なぜクマの出没は起こるのか　田口　洋美
洋画・総合美術　内藤正敏写真集
ゼミ写真展　めくるめく写真の
饗宴　内藤　正敏
企画展　東北あるく・みる・きく　岸本　誠司
池上冬樹の東北文学雑感(6)　激
変の時代を描く作家たち—戦中
・戦後の捉えかた　池上　冬樹
古文書解読405号室(2)　飛島・島
民の勇姿と船乗りの信仰心　中村　只吾
考古学者が映画を観ると(6)
人類の進化　安斎　正人
リレーエッセイ「東北を撮る」(4)
鮭川村のサケ—漁とじんぎりの
今　腰高　直樹
最後の桐紙職人に出会って　真木　稚奈
地域誌だより(19)
津軽人に津軽学を受け入れても
らうために　山下　祐介
「100年目の『遠野物語』119の
はなし」刊行　滝沢真喜子
第10号で「本屋さんへ行こう！」
千葉　由香
『会津学』6号刊行記念ゼミナー
ル開催　菅家　博昭
表紙を飾るアーティストたち
原井洋徳

関　東

◆茨城の思想研究　茨城の思想研究会
〒310-0044茨城県水戸市西原町1-11-3
後藤彰彦方　℡029-251-4668
◇10　2010.12　A5　62p
巻頭言　死を恐れることを教える
重要性　後藤　彰彦
青春の憲法と老化した安保政治　武藤　功
橘孝三郎の「農本主義」と〈共生〉
の思想—もうひとつの〈近代〉
への模索　菅谷　務
幕内満雄『評伝　三島通庸—明治
新政府で辣腕をふるった内務官
僚』を読む　桐原　邦夫
田中正造の活躍の跡を訪ねて　柏村　一郎
研究会と総会の経過　会報・会誌委員会

◆常総の歴史　崙書房出版茨城営業所
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5
℡0299-24-0595　1987年創刊
◇42　2011.1　A5　94p　1000円
『和名抄』にみえる常陸国新治郡
の郷について(8)—巨神郷(5)　久信田喜一
晡(輔)時臥之山をめぐって
「輔時臥之山」と「片岡之村」　久信田喜一
『常陸国風土記』輔時臥之山・考　松崎建一郎
晡時臥山の説話をめぐって　志田　諄一
大山・小場抗争と戦国期佐竹氏の
権力構造—大山氏と頓化原合戦
をめぐって　安達　和人
徳川斉昭の帰国　河野　弘
郷土の本／受贈図書の紹介コーナ
ー

◆鹿沼史林　鹿沼史談会
〒322-0031栃木県鹿沼市睦町287-14
鹿沼市立図書館内　℡0289-64-9523
年3000円　1954年創刊　tochigi-vnpo.net
◇50　2010.12　A5　84p
大欅文庫の人と書物(前)　岡田　幸夫
横根山の祠・石仏・石碑　安生　信夫
鹿沼今宮神社の祭礼と屋台(補遺)
—屋台彫刻について　中島　正
「鹿沼古文書研究会」の歩み　中島　正
鹿沼市域の足利藩領　菊地　卓
「藤原町史」補稿(2)　尾頭峠通行
の南山蔵入領廻米・郡上藩凌霜
隊・李垠殿下　佐藤　権司
北赤塚町について
北赤塚町の史跡散歩　楡木　長二
青龍渕館跡・皇宮前塚の発掘に協
力して　楡木　長二
鹿沼史談会の足跡（平成10年～20
年度）　大野冨士男
「鹿沼史林」総目録（第40号～49号）
福田　洋

◆下野史談　下野史談会
〒320-0866栃木県宇都宮市新町1-3-2
大木浩一方　℡028-633-3628　年3000円
1919年創刊

◇108　2010.12　A5　122p
平成22年11月3日（水）文化の日
　水戸市周辺の歴史と文化を訪ね
　る
野州下野の茂木郷「旧中川村」に
　伝わるお堂と祠について（続）　工藤　忠道
九十五年昔の僧侶の葬儀と真岡市
　般若寺の薬師如来　田村　豊幸
山城としての多氣山　永森　庄二
真田一族について　平野　茂
歴史探訪のキーワード
　東北山形方面を旅行して　永森　庄二
「ことば」と「漢字」について　平野　茂
大河津分水路　大垣　英三
私の古代史　田村　豊幸
上州国定一家外伝　船生　史郎
下野史談会のあらまし

◆**那須文化研究**　那須文化研究会
　〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1
　那須野が原博物館　℡0287-36-0949
　1987年創刊
◇24　2011.2　B5　188p
「大関公之碑」の碑文の読み方　大沼　美雄
「那珂橋碑」碑文の読み方　大沼　美雄
〈湯津上地区プロジェクト調査報告書〉
法師峠の事―那須野が原に残る西
　行伝承の一考察　木村　康夫
金丸原演習場―絵葉書と地形図に
　残されたその記録　長谷川　操
写真で見る戦後の東野鉄道佐良土
　駅跡周辺　久留生利美
大名家文書（大関家文書）は語る
　(9)―「御朱印箱入記」について
　　新井　敦史
地方文書は語る(9)
　―宗旨送り手形について　高根沢広之
新刊紹介　太夫塚130年の歩み
　太夫塚自治会　中村　悟
那須地区通信／栃木県文献一覧
　（2009追録）（2010）／那須文化
　研究会通信

◆**歴文だより**　栃木県歴史文化研究会会報
　〒320-0865宇都宮市睦町2-2
　栃木県立博物館内　℡028-634-1313
◇78　2011.1　A4　4p
《特集　下野の文化人大名》
大関増業と人的交流と、文化的事
　績をめぐる課題　舩木　明夫
玄人はだしの殿様芸
　―宇都宮藩主戸田忠翰の趣味　橋本　慎司
那須資明の文芸活動　阿部　能久
新刊紹介　江田郁夫著『下野の中
　世を旅する』　皆川　義孝

◆**群馬地名だより**　群馬地名研究会
　〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
　小池照一方　℡027-251-7660　1989年創刊
◇75　2010.12　B5　2p
アイヌ語地名考は慎重に　澤口　宏

◆**群馬歴史散歩**　群馬歴史散歩の会
　〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
　℡027-223-2785　年4500円
◇217　2011.1　A5　56p
《特集　多胡郡建都1300年》
生涯学習の場としての多胡碑記念
　館　大工原美智子
多胡郡建都1300年　大工原美智子
神保貞夫家の家例
　―各月の主要事項　神保　貞夫
掛軸「書」の見方　平澤　文夫
高山彦九郎日記による歴史散歩
　（24）『丁酉春旅』(4)　正田　喜久
わたくしの歴史散歩、上野の万葉
　集東歌　勅使河原司郎
れきさんサロン　平田經子／大崎岸子
絵手紙で歩く　上毛かるた(40)　小林　生子
支部だより
歴史散歩の報告
　記紀神話と古代・中世の旅　山崎　正

◆**武尊通信**　群馬歴史民俗研究会
　〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
◇124　2010.12　B5　4p
中世の板碑についての一史料　森田　真一
二種類の竹製蚕籠　飯島　康夫
第89回例会記事

◆**埼玉史談**　埼玉県郷土文化会
　〒350-0231坂戸市泉町12-5　大圖口承方
　℡049-281-4983　年4000円
◇304（57-4）2011.1　A5　52p
埼玉と武蔵国造　森田　悌
中世集落立地の背景と沿革（上）
　―土地利用の実態を中心に　大圖　口承
小学校校歌と「大正の新教育」と
　の関連に関する一考察　石井　昇
武州秩父雑話(8)
　―秩父諏訪部氏(1)　大墅　鴻風
平成の庚申塔　松村　恂
資料紹介
　友山翁御贈位奉告祭祭文祝辞　佐藤　繁
歴史随想　名家と名将(2)　佐藤　源作
書誌紹介
　『埼玉の仏像巡礼』青木忠雄著
第617回　公開講演会
第618回　野田市関宿地区見学
表紙写真解説　應永廿四年宝篋印
　塔基礎（日高市久保勝蔵寺）
口絵写真解説
　秋山要助正武入道雲嶺真蹟

◆**日本の石仏**
　日本石仏協会（発売：青娥書房）
　〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
　℡042-971-6512　年8000円
　www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇136　2010.12　A5　80p　2100円
巻頭随想　聖なるバグマティ川の
　ほとりで　坂口　和子
《特集　釈迦如来》
豊前羅漢寺の釈迦三尊・五百羅漢
　石仏について　渡辺　文雄
山形県の釈迦如来信仰　加藤　和徳
釈迦誕生仏と永海上人　門間　勇
平将門ゆかりの「奈良の大仏」　町田　茂
釈迦堂と法来寺　市村　幸夫
真宗王国富山の釈迦如来　尾田　武雄
若い石工・昭和最後の渾身作　筒井　隆義
石仏で見る釈迦の生涯　犬飼　康祐
韓国・日本の釈迦如来紹介　嘉津山　清
東・南アジアの釈迦如来紹介　井戸　寛
近江の釈迦如来像　黄瀬　三朗
ネパール・カトマンズ盆地の釈迦
　如来像　内山　孝男
名号塔の知識(4)　岡村　庄造
「石」を知る(26)　小松　光衛
石燈籠入門(46)　嘉津山　清
石仏写真と私(26)　杉本　康希
あ・ら・か・る・と―私の石仏案内
　　光野志のぶ／石田年子
第87回石仏見学会報告　横浜市港
　北ニュータウン周辺の石仏　前川　勲
会員の広場　森永五郎／中野高道
　　／島田常雄／蔵地心
はがき通信　栗原榮子／大木禊爾
石仏交流／石仏談話室／第35回総
　会のお知らせ／平成23年度石仏
　見学会予告・第89回石仏見学会
　案内

◆ぶい＆ぶい　無為無為　日本史史料研究会
〒350-1328埼玉県狭山市広瀬台3-26-1　武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部神野潔研究室　2008年創刊
www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇16　2010.12　A5　24p
「家忠日記」の末尾記事　大嶌　聖子
豊臣期備前国の都市と経済　渡邊　大門
◇17　2011.1　A5　28p
「霜月騒動」再現　細川　重男

◆アーカイブズ
独立行政法人国立公文書館
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621　www.archives.go.jp
◇42　2010.12　A4　68p
〈地方自治体の公文書館機能の整備〉
地方自治体の公文書管理・公文書館的機能の整備　早川　和宏
福岡県における公文書館整備の現状と課題　小原　康弘
三重県の公文書館機能の整備について　天野　秀昭
島根県公文書センター（仮称）整備検討　岩﨑　健児
高知県の公文書館機能の整備に向けて　徳橋　正人
滋賀県の公文書館機能の整備　稲葉　千帆
札幌市における公文書館開設準備状況について　竹内　啓
戸田市アーカイブズ・センター開設の経緯と課題　今井　功一
第42回国際公文書館円卓会議（CITRA）
第42回国際公文書館円卓会議（CITRA）参加報告　太田由紀／本村慈
デジタル化で明日を拓く日本国立公文書館　高山　正也
藤沢市文書館の現状と課題　石井　修
尼崎市立地域研究史料館の事業紹介　辻川　敦
日本歴史学協会の活動　高埜　利彦
平成22年度公文書館等職員研修会／第2回・第3回公文書管理委員会が開催されました

◆明日を拓く／解放研究
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861　1993年創刊
◇86/24（37-1）2010.9　A5　233p　2000円
「武州鼻緒騒動」関係史料集成（中）
間々田和夫／大熊哲雄／畑中敏之／廣畑研二
史料目次・解題／穢多駆動記（大徳家文書）／裁許状（大徳家文書）／瀬匪小記（大徳家文書）／瀬匪三稿（大徳家文書）／裁許状（毛呂山町歴史民俗資料館所蔵コピー文書）／裁許状（土屋家旧蔵文書）／万吉の捨札（毛呂山町歴史民俗資料館所蔵文書）／穢多一件并三給割控帳（小鷹家文書）／天保京升鑑（毛呂山町歴史民俗資料館所蔵北区文書）／観音堂前天水鉢台座の奉納者名簿（岩殿山正法寺）／如意村弁之助の道案内推薦状（六左衛門家文書）／差上申一札之事—天保十二年（半三郎家文書）／差上申一札之事—天保十四年（半三郎家文書）／差上申一札之事—弘化二年（半三郎家文書）／和名村宗門人別帳・手下人別帳—天保九年（鈴木家文書）／石坂村宗門人別御改帳—天保十一年（石坂村小頭家文書）／石坂村宗門人別御改帳—弘化三年（石坂村小頭家文書）／厚川村宗門人別帳—天保十一年（坂戸市立歴史民俗資料館保管コピー文書）／厚川村宗門人別帳—嘉永五年（坂戸市立歴史民俗資料館保管コピー文書）／石坂村一件済口証文（宮根家文書）
史料紹介　『奥南革師方諸留』と「癩人小屋についての状断片」（仮称）　鯨井千佐登
前理事長・内田雄造氏の逝去を悼む　編集部
同和地区のコミュニティデベロップメントの新しい展開　内田　雄造

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　TEL03-3620-9393
◇515　2011.1　A4　4p
足立区文化遺産調査スタート　郷土博物館
門松売りのことなど(2)　薊　照夫
亀有大谷田物語(9)—昭和30年代の私　住(1)　伊藤　純
都市近郊の農産物を追う(36)　藁加工品—わらじ(2)　萩原ちとせ
◇516　2011.2　A4　4p
せんべいづくりのこと—足立区関原・会田せんべい店　内山　大介
千葉さな余談　坂本龍馬との恋を目撃した男　あさくらゆう
亀有大谷田物語(9)—昭和30年代の私　住(2)　伊藤　純
郷土博物館の展示案内　収蔵資料展「面白絵詞　地口行灯」／企画展「千住の琳派—村越其栄・向栄父子の画業—」
都市近郊の農産物を追う(37)　藁加工品—ムシロ・コモ・ナワ(1)　萩原ちとせ
◇517　2011.3　A4　4p
千住の琳派—村越其栄・向栄父子　真田　尊光
企画展「千住の琳派—村越其栄・向栄父子の画業—」
亀有大谷田物語(11)—昭和30年代の私　遊　伊藤　純
都市近郊の農産物を追う(38)　藁加工品—ムシロ・コモ・ナワ(2)　萩原ちとせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　TEL03-3620-9393
◇274　2011.1　A4　6p
新年明けましておめでとう御座います
「ふるさと足立」の歴史を根付かせたい　堀川　和夫
コラム教育史料　終戦直後の日本の教育(108)　新教育指針　第一部　後編　新日本教育の原点　第三章　女子教育の向上　堀川　和夫
足立史談カルタ紹介「と」酉の市には大鷲神社
神田さんの記憶・上　安藤　義雄
冬季区民教養講座の報告
付「神田さんの記憶　ファイルの中にとじ込まれた新聞の切り抜き」新聞記事
◇275　2011.2　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本の教育(109)　新教育指針　第一部　後編　新日本教育の原点　第三章　女子教育の向上　堀川　和夫

瀬田一男氏の逝去を悼む　堀川　和夫
神田さんの記憶・下　安藤　義雄
伊興七福神と伊興の歴史
　1月探訪報告
◇276　2011.3　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本
　の教育(110)　新教育指針　第
　一部　後編　新日本教育の原点
　第三章　女子教育の向上　堀川　和夫
足立史談カルタ紹介
　「り」俚謡で名高い千住節
江北　荒川の五色桜
神田さんの記憶・補遺　編　集　部
2月探訪報告　梅島駅から島根界隈

◆あるむぜお
　府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
　〒183-0026東京都府中市南町6-32　℡042-
　368-7921　www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇94　2010.12　A4　8p
府中宿に○△がやってきた！(3)
　虚無僧との契約　花木　知子
博物館で生物多様性を知る！(3)
　自然観察会の真実　中村　武史
NOTE
　都市環境に適応した鳥たち　中村　武史
展示会案内
　古代国司館と家康御殿
最近の発掘調査　古代の国司の館
　を発見　本町一丁目　荒井　健治
収蔵資料あれこれ
　大室政右コレクション　深澤　靖幸

◆板橋史談　板橋史談会
　〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
　℡03-5398-2682
◇262　2011.1　A5　25p
《特集　回顧　昔と今の年中行事》
新倉村の幼かりし頃のお正月　星野　紀昭
向原、我が家の正月行事について
　三原寿太郎
昭和初期のわが家のお正月（信州
　佐久）　泉　貞代
わが家と私の年中行事（板橋の町
　にて）　猪瀬　尚志
ひろば
　飯沼一さんの思い出　泉　貞代
　「栗山・ふるさと文化祭」を訪
　　ねて　若林　清
史談会のあゆみ(10月・11月)／短
　報　受贈図書目録(11月・12月)
　事　務　局

◆稲荷山通信　八王子市史編さん室だより
　八王子市総合政策部市史編さん室
　〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3
　℡042-666-1511
◇6　2010.12　A4　12p
市民と歴史のふれあいの場「市民
　講座」を開催
専門部会の動きと計画
　今、発掘中につき　関　和彦
　中世部会の活動報告　池上　裕子
　史料から人びとの暮らしを探る
　　藤田　覚
　埋もれた歴史に光を　新井　勝紘
　市民との協働でしない全域の植
　　物相調査　畔上　能力
　八王子市の根おいの文化を探る
　　小川　直之
市史編さんに関する講座を用意し
　ています／『八王子市史研究』
　原稿の選考結果
地域からの声(3)　八王子市みな
　み野　糠信富雄さん
チャレンジインターンシップ体験
　記　八王子市の市史編さん―人
　と人とが織りなす歴史　佐藤　友紀
市史編さんのあゆみ／受贈図書・
　資料
歴史の窓(6)
　大石氏と信濃―大石氏出自考　柳沢　誠

◆奥武蔵　奥武蔵研究会
　〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
　加藤恒彦方
◇377　2011.1　B5　34p
更なる飛躍の年に　加藤　恒彦
遭難者との遭遇(上)　大場　誠
奥武蔵、秩父の獅子舞(35)
　―滝ノ入、住吉の舞　関口　洋介
埼玉一のブナの巨木(2)　湊　祐二郎
小説『犬塚』(1)　小泉　重光
人生と山脈(上)　染谷　鷹治
旧山伏峠道の石仏たち　町田　尚夫
秋遍路　佐藤　八郎
聖尾根下見山行　河野　尚久
慈光寺伝承散歩　酒井　昌樹
10年度 河田賞／10年度 山行賞／
　10年度 集会賞
山行報告

◆季刊 Collegio　之潮
　〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
　℡042-328-1503　www.collegio.jp
◇43　2010.12　B6　64p　300円
『江戸・東京地形学散歩』の読者
　のために(最終回)　縄文海進前
　後の海面変動(3)　松田　磐余
縄文遺跡と地形―西久保八幡貝塚
　と愛宕下遺跡　安孫子昭二
父・忠敬堂　今井哲夫のこと　今井　彩子
小型図紹介(7) 筑摩県管下之図　山下　和正
フランス古地図音楽散歩(25)
　サン・シュルピス島　関根　敏子
ペリー艦隊が見た地形(1)
　ペリー艦隊が作成した海図　松田　磐余
東京電車線路物語(21)
　小さい電車、可愛いホーム　井口　悦男
町田にあった芝好園　田中　正大
中西悟堂を歩く(22)
　築地・工手学校　西村　眞一
『学習参考書地理的発見の歴史』
　について(3)　佐々木路子
コラム　江戸の崖・東京の崖(4)

◆北区史を考える会会報
　〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
　大澤栄美方　℡03-3907-0040
◇99　2011.2　B5　10p
第337回月例研究会　12月4日(土)
　北区内の踏切について　斉藤　要
第336回月例研究会　11月13日(土)
　岩淵地区座談会　馬場　永子
第338回月例研究会　1月23日(日)
　0メートル都市の洪水―河川の
　　変遷と洪水の危険性について
　土屋　信行
第29回定期総会　林　健一

◆郷土史　八王子市川口郷土史研究会
　〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9
　車田勝彦方　℡042-654-3101
◇32　2011.1　B5　16p
川の流れ　車田　勝彦
平成22年度総会・新年会
　初めての参加で会員になる　常盤　聖一
本の紹介　『多麻金石文』復刻版
　山本正夫編著(平成22年5月刊)
　山本史学の真髄に触れる　高澤　寿民
特別寄稿　北方探検家　最上徳内
　と八王子　五味　元

平成22年春の見て歩き　中世から
近世期の川口地区史跡を訪ねて　岩本　行雄
中世の川口に思い馳せ　樋口多喜子
郷土史講演会　八王子市生涯学習
センター川口分館共催「北条
氏照の印文未詳印」について
前川實／牛頭天王川流れの伝承
高澤寿民　杉田　博
第17回透谷祭　高長寺で遺風偲ぶ　岡村　繁雄
平成22年度川口中学校一年生総合
学習「地域調べ」報告　齋藤　三男
八王子の女性史を学ぶ
—川口の女性からも聞き取り　古坂　容子
平成22年度秋の史跡巡り「忍城」
「さきたま古墳群」「能仁寺」　宮田　治三
聞書　川口・少し昔の暮らし(3)
太子講の話—久保武さん
行事報告　一年を振り返る

◆交通史研究　交通史研究会
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
国士舘大学文学部　地理学教室内
wwwsoc.nii.ac.jp/jstc/
◇73　2011.1　A5　112p
趣旨説明　第36回交通史研究会大
会　共通論題「東北地方の交通
と交易」　原　淳一郎
公開講演　キャプテン・クックの
太平洋探検と東北史　平田　新
共通論題論文
藩境の街道と荷継ぎ争論
—仙台藩の境目を事例に　坂田　美咲
「地場資本」による海運インフ
ラ整備事業と地方行政の対応
—明治後期三陸汽船株式会社
の設立過程を事例に　佐藤　文吉
地方における鉄道の発達と商品
流通—福島県会津地方を中心
に　吉田　博行
研究ノート　近世関所の関番人配
置をめぐる問題—特に箱根関所
を中心として　丸山　雍成
会長提示の交通史研究会改革案
書評　梶本元信著『北ウェールズ
交通史論』　湯沢　威
展覧会情報／会員彙報

◆式内社通信　式内社顕彰会
〒151-0053東京都渋谷区代々木1-1-2
神社本庁内　℡03-3379-8048
◇1　2011.2　B5　24p
志波彦神社名神大社(旧国幣中社)
式内社通信発刊によせて
平成21年度 第2回評議員会議事録
／平成21年度 第2回理事会議事
録／平成22年度 第1回評議員会
議事録／平成22年度 第1回理事
会議事録
公益法人制度改革に伴う式内社顕
彰会の対応現況

◆史　叢　日本大学史学会
〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部史学研究室内
℡03-3329-1151
◇83　2010.9　A5　104p
清代における信仰と「治療」　多々良圭介
1939年8月から12月までの言論界
の対ソ連論調—日ソ提携問題を
中心に　多比良　充
研究ノート
いわゆる廃刀令の再検討　田口　智博
研究動向　日本的中華世界観の形
成とその現代的意義—第2回「東
アジア共同体」シンポジュウム
に寄せて　鈴木　國弘
改革連盟の権利観とイングランド
第二次選挙法改正運動　竜田　晧介

◆下町文化
江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
℡03-3647-9111　www.city.koto.eg.jp
◇252　2011.1　A4　8p
「見て・聞いて・体感する」伝統
工芸展2011開催／「江東区伝統
工芸作品展」開催のお知らせ
芭蕉記念館企画展　家族の絆と文
芸—夫婦・親子・きょうだい　生島　修平
文化財の仕事に携わって　楠　勤
文化財保護推進協力員レポート
釜屋堀庚申堂のおまつり　坂本　住子
文化財企画講演会　幕末明治期深
川の社会と自然　宮地正人先生
江東区域の西洋瓦—亀戸浅間神社
出土資料と猿江の工場　野本　賢二

◆城郭だより　日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋北郵便局私書箱50号
℡03-3967-1948　年6000円
◇72　2011.1　A4　6p
常陸鹿島の塚原舘調査—確認され
た剣聖・塚原卜伝の居城址
目安箱(11)　廊下橋　西ヶ谷恭弘
鬼ノ城で貯水堤が出土／最大級の
囲形埴輪が復元
各地の城郭ニュースから　陸奥西
山城より主殿ピット／甲府城址
で初期石垣／吉田城復興鉄櫓が
改修／岐阜城址が国指定史跡に
／楠葉台場も国指定史跡／水俣
城は総石垣造か
最近の注目される城郭関係図書か
ら　白峰旬著『江戸大名のお引
っ越し』、盛本昌史広著『戦国
合戦の舞台裏』、谷口克弘著・
第二版『織田信長家臣人名辞
典』、杉本幸雄著『江戸期の主
要城館を探る』六巻
各地の城郭研究会活動から

◆城郭史研究
日本城郭史学会（発売：東京堂出版）
〒174-8691東京都板橋北郵便局私書箱50号
℡03-3967-1948　年6000円　1968年創刊
◇30　2011.2　B5　131p　2700円
鎌倉の古道といわれる「七口」に
ついて　伊藤　一美
徳川幕府による大坂城再築の一様
相—黒田家丁場における石垣普
請を事例に　中村　博司
城郭整備への提言
城跡の景観と城内に繁茂する樹
木　加藤　理文
箕輪城の考察と保存・整備への
提言　湯田　圭
砕玉類題
常陸小幡城—明らかになった空
堀の断面形とその機能をめぐ
って　坂井　尚登
大同・北京・山海関の城郭と長
城をめぐる旅—第三回中国の
城郭・長城旅行会に参加して
小田　正雄
城郭史関係論文目録　阿部　和彦
活動報告／受贈図書紹介

◆西郊民俗　西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方　年2000円

www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇213　2010.12　B5　41p
入谷の朝顔市
—東京都台東区下谷真源寺　長沢　利明
紅皿塚の縁起　大島　建彦
奥飛騨丸山の穴熊狩り　森　俊
京都の天狗像—昔話・伝説・世間話からの考察　高橋　成
福島県における威嚇猟(上)
—その実態の概要と特色　天野　武

◆**戦国史研究**　戦国史研究会
発売：吉川弘文館　〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8　TEL03-3813-9151　1981年創刊
◇61　2011.2　A5　48p　667円
中近世移行期の石清水八幡宮と幕府・将軍—安居神事をめぐる政治交渉　鍛代　敏雄
戦国初期大内氏領国における公銭貸付　藤井　崇
羅針盤
蜂須賀家政の徳島城築城をめぐって　天野　忠幸
花房秀成の来歴一端　大西　泰正
『後藤衛藤系伝』所収の赤松氏発給文書　渡邊　大門
羅針盤　飯沼丹後守について　森田　真一
戦国史関係論文目録（平成22年1月～6月）
例会記録／例会報告要旨

◆**全日本郷土芸能協会会報**
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14　パークハウス赤坂氷川102　TEL03-3583-8290
年2000円　www.jfpaa.jp
◇62　2011.1　A4　24p
水間千本搗餅つき　大阪府貝塚市
年頭のご挨拶　菴谷　利夫
日本の無形文化遺産(芸能関係)／平成23年度行事予定
民俗芸能で広がる子どもの世界
第13回全国こども民俗芸能大会／第8回伝統文化研修セミナー
干支にちなんだ芸能紹介　松例祭
平成22年度国際民俗芸能フェスティバル
芸能紹介　カンボジアの宮廷舞踊／モンゴルの歌と踊り／浅草神社のびんざさら／吉浜の鹿島踊／伊勢太神楽
第13回全国獅子舞フェスティバル・飯田市　開催報告
ザ・ササラ／伊勢神宮展で芸能披露／日本音楽マネジメント学会第3回研究大会　ミニシンポジウム　民俗芸能公演の企画制作について—現場から見た現状と課題
初春の芸能公演　2011／会員行事カレンダー祭暦　2011　1月～4月
民俗芸能グッズ
お宝自慢コーナー(2)
第20回全国地芸居サミット in 長浜(滋賀県)　秋の曳山子ども歌舞伎
全国地芸居連絡協議会通信　山口　清文
地芸居公演情報　1月～4月／かながわ伝統芸能祭　地芸居2011
地芸居探訪(37)　柳橋歌舞伎／上川手歌舞伎／入谷歌舞伎／小鹿野歌舞伎／下條歌舞伎／渋川歌舞伎　松浦　鳥夫
地芸居との交流
—演劇 camp in 中津川2010　蒲池　卓巳
「全国の地芸居・農村舞台の調査と活性化事業」への取り組み／第7期太神楽研修生募集
地芸居見聞(2)　あきる野市　菅生歌舞伎／新城市　新城歌舞伎　北河　直子
松平流傍目八目(37)　守屋毅氏の「地芸居」への慧眼　松平　誠
民俗楽器(38)　バリ島のトゥンガナン村とガムラン・スロンディン　山本　宏子
誌上講座(62)　第28回アジア文化芸術交流促進連盟(FACP)シンガポール大会の報告から　中坪　功雄
会員紹介　晴山獅子舞保存会／会員情報
良書紹介　宮本常一とあるいた昭和の日本　全25巻／会員かわら版　ししおどりとサクソフォン？

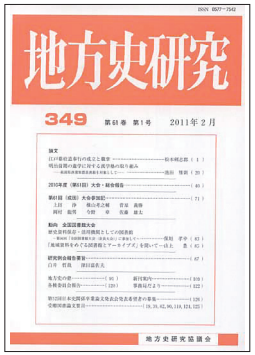
◆**大道芸通信**　日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄　TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇223　2011.1　A4　2p
放下筌に観る危険術
大締一代記(10)　(原作)藤本甲南／(著作)光田憲雄
◇224　2011.2　A4　2p
祇園社と牛頭天王・スサノオ
大締一代記(11)　(原作)藤本甲南／(著作)光田憲雄

◆**多摩地域史研究会会報**
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財ＣＯＭ内　TEL042-521-0186
◇96　2011.1　B5　6p
第73回例会報告　多摩の中世城館を歩くⅢ　深大寺城　西股　総生
特別展のご案内　江戸東京たてもの園　武蔵御嶽神社と高尾山薬王院
多摩地域史研究会　第19回大会
多摩川中流域の近世村落—開発と景観（案内）

◆**多摩のあゆみ**　たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内　TEL042-574-1360
年1200円　www.tamashin.or.jp
◇141　2011.2　A5　136p
《特集　戦時下の地域社会　その2》
戦時下の青梅線
—軍需駅誕生と複線化の歩み　三村　章
多摩上空のＢ29
—単機、少数機の任務と空襲　齊藤　勉
昭和20年4月2日の夜間空襲—北多摩東部を襲った「時限爆弾」の真相　牛田　守彦
聞き書き
陸軍兵器補給廠小平分廠　蓮田　宣夫
子供たちの記憶から見えてくる村
山村—戦争末期における都市近郊農村の暮らし　楢崎　由美
御真影の共同管理と疎開—都内・北多摩・八王子から西多摩へ　古橋　研一
敗戦直後の立川地区　楢崎　茂彌
敗戦後の地域文集『多摩の子』の誕生　冲川　伸夫
多摩地域の戦時下資料研究会の活動—資料・データ一覧（財団ＨＰに公開）　編　集　部
洋風建築への誘い(30)
全生園旧図書館　伊藤　龍也
建物随想記(25)　洋館の屋根　酒井　哲
多摩のみほとけ(4)　八王子市清

鏡寺　十一面千手千眼観世音菩
薩坐像　齊藤　経生
三鷹市大沢の峯岸水車、水流で動
く！　小坂　克信
本の紹介
篠崎譲治著『馬小屋の考古学』松崎　元樹
武蔵野文化協会編『武蔵野』
「総目録」　加藤　功
まちの情報ハブ・図書館(4)
小平市立図書館　藤井　洋
東村山市立図書館　澁川　泰子

◆地方史研究
地方史研究協議会（発売：岩田書院）
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
名著出版内　TEL03-3816-0739　年6600円
◇349（61-1）2011.2　A5　126p　1143円
江戸幕府道奉行の成立と職掌　松本剣志郎
明治前期の遊学に対する漢学塾の
取り組み—新潟県西蒲原郡長善
館を対象として　池田　雅則
2010年度(第61回)大会・総会報告
第61回(成田)大会参加記
上田浄／横山考之輔／菅原義勝
／岡村龍男／今野章／佐藤雄太
歴史資料保存・活用機関としての
図書館—第96回「全国図書館大
会(奈良大会)」に参加して　保垣　孝幸
「地域資料をめぐる図書館とアー
カイブズ」を聞いて　山上　豊
研究例会報告要旨
2010年8月28日例会報告
成田地域における地方史研究の
新展開　白井　哲哉
下総飯岡村大河平兵衛について
—天明期から文化期の経営を
中心に　深田富佐夫
地方史の窓／新刊案内／各種委員
会報告



＊後記で紹介したように、東日本大震災を契機に、従来からのLMA連携に公民館を加えたMLAK連携が急速に進み始めたが、歴史資料保存・活用機関としての、博物館、文書館、図書館との連携は、これまで諸外国に比べて余り活発ではなかった。昨年9月に奈良県で開催された第96回全国図書館大会における資料保存の分科会で、海外図書館を例に地域資料を守る図書館と司書の役割が報告され、公立資料館側から、公文書管理法施行が迫るなかでの、アーカイブス資料の保存と活用について、図書館に向けての提言がなされた。保坂孝幸氏と川上豊氏はアーカイブスの立場から同大会の論点を整理し、動向を伝えると共に、かならずしも容易な道ではないことを認識しつつも、資料保存と活用に向けてのLMA連携に期待を寄せている。

◆調布の文化財　調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL0424-81-7656　1986年創刊
◇44　2010.3　A4　8p
下石原遺跡の土壙墓群から出土し
た縄文土器や土製品が調布市の
有形文化財(考古資料)に新指定
されました!!
新指定の文化財　下石原遺跡の縄
文時代後期の土壙墓群から出土
した副葬品　赤城　高志
文化財講演会抄録　福田健司氏
「律令時代の調布」　高山　尚三
◇45　2010.8　A4　8p
下石原八幡神社の獅子舞が復活し
ました!!
市内の郷土芸能
下石原八幡神社の獅子舞　赤城　高志
文化財講演会抄録　村松哲文氏
「深大寺白鳳仏の謎を探る」　高山　尚三

◆東京産業考古学会　NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方　FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇86　2011.1　A4　6p
報告　見学会「都市住宅技術研究
所」　堀内　仁之
第16回理事会の議事概要／関連団
体情報
平安神宮が重要文化財に　平井　東幸
報告　第1回産業考古学基礎講座
「幕末・明治期の海防と関連施
設」　吉田　修
第2回産業考古学基礎講座のご案
内—泰緬鉄道(Thai-Burma Rail
way)を調査して　吉田　修
茨城県阿見町の赤煉瓦建築物(6)
旧霞ヶ浦海軍航空隊飛行船隊兵
舎　八木　司郎
新刊紹介　『東京の鉄道遺産
百四十年をあるく　上下』山田
俊明著　平井　東幸

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
㈶政治経済研究所　TEL03-5857-5631
www.tokyo-sensai.net
◇18　2011.2　A4　8p
次世代への平和のバトン　『語り
伝える東京大空襲』の五冊本で
す　早乙女勝元
東京大空襲を語り継ぐつどい—戦
災資料センター開館9周年／『ビ
ジュアルブック　語り伝える東
京大空襲』刊行記念パネル展
図表に見る東京大空襲
研究交流　空襲史の新たな展開へ
第4回無差別爆撃シンポジウム
「帝国と空襲　イギリス・台湾
空襲を検証する」
証言映像　空襲体験の映像の収録
が進んでいます
語り継ぐ　来館者はまもなく10万
人に／「英語劇で伝える東京大
空襲」都立両国高校附属中学校
2010・夏の親子企画　みて！きい
て！つたえよう！東京大空襲
空襲・戦災を記録する会全国連絡
会議第40回東京大会　40年の歴
史と今後の展望　シンポジウム
／政府は戦争の後始末を　「全
国空襲被害者連絡協議会」が発
足
感想ノートから　明日に伝える／
資料は語る　筑紫哲也さん最後
の番組「3月10日・東京大空襲
—語られなかった33枚の真実」
台本と吉永小百合さんとの往復
書簡を展示

◆日蓮仏教研究　常円寺日蓮仏教研究所
〒160-0023東京都新宿区西新宿7-12-12
TEL03-3371-2188

◇4　2010.3　B5　202p
第四号私見聞　及川　真介
(初期)インド大乗仏教研究の諸相　デイヴィッド・セイフォート・ルエッグ／望月海慧
中山法華経寺蔵『識分法門一念三千即離事』の一考察(下)　菅原　関道
安房妙本寺と和泉堺本伝寺—新出史料の検討　佐藤　博信
寂照院日乾『立正安国論私』の一考察　都守　基一
翻刻　遠沾院日亨上人国字年譜録　川上大隆／都守基一
講演要旨　三大秘法について　都守　基一
寄贈図書一覧／学室だより

◆日本精神文化　日本精神文化学会
〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43
℡042-394-5078　1998年創刊
◇20　2010.12　B5　124p
基調講演
道徳観による諸説—幸福説と完全説　尾関　忠雄
宮沢賢治思想の地理教育への考察　八田二三一
研究発表
親鸞における慈悲心とは何か　新保　哲
言語と文化—翻訳の可能性　土井　清孝
近世・近代日本数学史論　大橋　康宏
空海による日本仏教の樹立　熊谷　保孝
明恵にみる「いのちと救い」の思想　米田　達也
御成敗式目第一条における神人相依思想　関　正幸
特別寄稿
ソクラテスの「測り難さ」をめぐって(2)　村島　義彦
終末期以前に考えておくべきこと　岡島　秀隆
「健康心理学」学習後の生活習慣に対する自己管理と意識の変化について　黄　千庭
『日本疾病史』及び『日本医学史綱要』について　土屋　長久
「于」と「千」について　後藤　康夫
森鴎外と『金瓶梅』　阮　毅
道鏡事件に関する一考察—宇佐託宣集をめぐって　今林　義明
第20回精神文化学会報告
寄贈図書／会則・役員名簿／決算報告／編集後記（新保哲・米田達也）

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方　℡03-3996-4454
◇331　2011.1　A4　4p
豊島氏関係史料を読む(14)
上杉顕定と豊島氏(4)　伊藤　一美
照姫伝説考(3)　遠武　健好
平塚城の謎を検証する(2)　葛城　明彦
平成22年実施報告

◆練馬古文書研究会会報
〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603
鈴木方　℡03-3920-3627　1985年創刊
www2u.biglobe.ne.jp/~shiba/
◇45　2010.12　B5　4p
木下家文書　“謎の人物”「安太郎」に迫る(上)　鈴木　義範
千川上水余話　飯塚　芳男
見学会報告　“江戸の古刹”長命寺、秋の石神井川沿いを歩く　堀内　通子

◆東日本部落解放研究所ニュース
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
℡03-5603-1863　1986年創刊
◇79　2011.2　A4　10p
前理事長内田雄造氏ご逝去のお知らせ　藤沢　靖介
「『明日を拓く』『解放研究』研究についてのアンケート」中間報告
鉦打・時宗研究会のご案内／歴史部会のご案内／第2回東日本同和教育実践交流会のご案内

◆扶桑　扶桑教大教庁
〒156-0043東京都世田谷区松原1-7-20
℡03-3321-0238
◇469　2011.1　A4　4p
謹んで新年を壽ぎ奉ります／秋季報元大祭執行／宮城・仙台発心教会　御分霊奉斎十周年奉祝大祭
お山道をたどる(3)　富士吉田浅間神社／敬神の道標(3)「富士講」の研究書(2)　富士講研究会の人々／聖地巡拝(3)　冨士八海(1)
第56期祭式作法中央研修会　開催／研修会便り／公益事業報告

◆民衆史研究　民衆史研究会
〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部　大日方研究室内
◇80　2010.12　B5　100p　1500円
《特集　民衆史・社会史・文化史を架橋する》
特集にあたって　民衆史研究会委員会
情熱としての「民衆史研究」について　水口　幹記
あたらしい文化史の跫音　黒田　智
近世民衆史と社会史を考える—寺社参詣史の立場から　原　淳一郎
民衆史と社会史と文化史—「近代」を対象とした　成田　龍一
書　評
速水融著『歴史人口学研究—新しい近世日本像』　加納亜由子
中島岳志著『朝日平吾の鬱屈』　伊東　久智
〈日記する〉人々の記憶のために—西川祐子著『日記をつづるということ—国民教育装置とその逸脱』　坪井　秀人
藤井忠俊著『在郷軍人会—良岳良民から赤紙・玉砕へ』　嶌田　修
展示会短評　ドイツ、ポーランドの近代史博物館常設展　荻野　夏木

◆明治維新史研究　明治維新史学会
〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学第Ⅰ研究館文学部歴史学科
小泉雅弘研究室　2004年創刊
www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
◇7　2011.1　B5　72p
明治初年外交事務の形成　湯川　文彦
岡田良一郎の富国構想と報徳運動—著作の検討を中心に　足立洋一郎
研究ノート　幕末期加賀藩における藩是と「藩論」—個別藩の分析視角　宮下　和幸
学会動向　明治維新の歴史的性格　中村　哲
書評　高木不二著『日本近世社会と明治維新』　平良　聡弘
新刊紹介
三谷博・並木頼寿・月脚達彦編『大人のための近現代史　一九世紀編』　木村　直也
大石学編『一九世紀の政権交代と社会変動　社会・外交・国家』　笹部　昌利

◆目黒区郷土研究　目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方　℡03-3711-3959
◇672　2011.1　B5　8p　150円
新春を祝して　青木　英二
新年のご挨拶　長澤　英男
路線バスに乗って区内案内(10)
(黒06系統)「目黒駅発～三軒茶屋」線の内、「目黒駅、自然園下」　平山　元也
アメリカ橋によせて(2)　田丸　太郎
会報にみる目黒の昔(31)「清水の海軍技術研究所の裏話」山本綱賀
目黒氏と平一揆　竹田　務
ウォーキング時代を考える　編集部
大銀杏(3)　仲野　基道
◇673　2011.2　B5　8p　150円
路線バスに乗って区内案内(11)
(黒06系統)「目黒駅発～三軒茶屋」線の内、「自然園下～水道局目黒営業所」　平山　元也
アメリカ橋によせて(3)　田丸　太郎
まぼろしの田道児童遊園地を追って(4)　吉田　早織
会報にみる目黒の昔(32)「碑文谷の川と橋(一)(二)」樋口信助(205号　昭和47年2月)
会報にみる目黒の昔(33)「青葉台の緑「やや不良」目黒区内の緑樹の状態(一)」(218号　昭和48年3月)、「向原ゾーンは緑最低　目黒区内の緑樹の状態(二)」(219号　昭和49年4月)
町会誌でたどる昭和史(1)　柿の木坂移り変わりより　柿の木坂町会編集
大銀杏(4)　仲野　基道
◇674　2011.3　B5　8p　150円
路線バスに乗って区内案内(12)
(黒06系統)「目黒駅発～三軒茶屋」線の内、「水道局目黒営業所～五本木二丁目」　平山　元也
アメリカ橋によせて(4)　田丸　太郎
碑文谷のどんど焼き　高林　健二
目黒と目と黒と(1)　目黒　英夫
目黒川桜物語　業務部

◆小田原史談　小田原史談会
〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13
植田方　℡0465-48-9072　年3000円
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇224　2011.1　B5　28p
年頭にあたって　植田　博之
小田原の郷土史再発見　学習院の小田原移転計画と田中光顕　石井　啓文
史談雑記帳　秋山眞之、終焉の地『山下家別邸実測圖』を拝見して　石井　啓文
小田原藩浅田兄弟の敵討『孝貞義鑑』散策(8)　鈴木　好
蘇我・宗茂そして曾我への一六〇〇年の覚書(4)　市川一郎・清司
豆相人車鉄道開業当初の小田原停車場を探して　小林　一夫
短信　箱根湯本「福住旅館」見学
小田原ゆかりの幕末の志士「田中光顕」　右田　俊博
史談再録(13)　文庫流れ　『小田原史談』第77号(昭和51年1月号)　石井富之助
旅のつれづれ俳句日記　剣持　芳枝
懐かしい小田原風景　市川　敬一
二宮尊徳の足跡を訪ねて
櫻町・今市・日光史跡巡り

◆神奈川地域史研究　神奈川地域史研究会
〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1
関東学院大学経済学部　田中史生研究室
℡045-786-7833　年4000円　1984年創刊
◇28　2010.12　B5　51p　3000円
〈2009年度総会研究報告「神奈川の資料保存とネットワーク」〉
総会研究報告要旨
記憶と記録の交差路
—神奈川県立公文書館の現在　石原　一則
藤沢市文書館の可能性と課題—神奈川県軍事関係資料保存ネットワークの形成にあたって　中村　修
総会研究報告討論要旨
古代渡河交通と寺院—東国の官衙周辺を事例として　永井　肇
書評　有光友學著『今川義元』　浅野　充
書評　有光友學著『今川義元』　糟谷　幸裕
新刊紹介　伊勢原市史編集委員会編『伊勢原市史　通史編近世』
例会記録・例会参加記

◆鎌倉　鎌倉文化研究会
〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内　℡0467-22-6300
◇110　2010.12　A5　98p　1500円
我孫の源流と遺称　篠原　幸久
承久の乱における一族の分裂と同心　長村　祥知
『玉縄北条氏関係史料集』のこと
—後北条氏研究の深化のために　佐藤　博信
鎌倉・江の島と龍伝説　島本　千也
余録　鎌倉乃記(5)—長谷(2)
平出修・生田長江　坂本　俊雄
『亀谷山記録』(7)　鎌倉古文書研究会
『鹿山公私諸般留帳』(40)　三渕美恵子
神奈川の窓(27)
—「地方史研究」から　井上　隆男

◆コロス　常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方　年1000円
◇124　2011.2　B5　6p
城下町の民俗的世界
—小田原の年中行事(13)　西海　賢二
受贈図書／研究会活動報告

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104　寺田兼方方
◇122　2011.1　B5　24p
「第28回藤沢市遺跡発表会」を迎えて　寺田　兼方
遠藤打越・遠藤西谷遺跡　今泉　克巳
稲荷台地遺跡群　引地脇遺跡
第4地点　齋木　秀雄
鵠沼下ノ沢(藤沢市№437)遺跡　長澤　保崇
宮原中原(藤沢市№306)遺跡
第1次調査　宇都　洋平

◆日本地名研究所通信
〒213-0001　川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館４階　℡044-812-1191
1993年創刊　www8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇73　2011.1　B5　4p
新年にあたって　谷川　健一
『伊那谷の地名』を発刊
伊那谷地名研究会会長　原　董
秋の研究発表会を終えて　宮崎県地名研究会
地名を通して　歴史文化を楽しむ
会—六分科会に発展　中部地名文化研究会　服部　真六
東北アイヌ語地名研究会　住田町での研究会　太宰　幸子
母なる川　釧路川の源流を訪ねて

山本　修平

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
℡045-481-5661　年3500円
◇514（43-10）2011.1　A5　24p　350円
浜比嘉島比嘉村落のタコ穴漁　新垣　夢乃
「仙台筆」らしさとは何か(2)　柏井　容子
◇515（43-11）2011.2　A5　24p　350円
佐治の板笠と民俗資料の収集の経緯　中島　嘉吉
国登録有形民俗文化財　鳥取県「佐治の板笠製作用具と製品」について　樫村　賢二
資料紹介「千石唐箕之図」　近藤　雅樹
民具短信　民具から“mingu”へ—国際シンポジウム「“モノ”語り—民具・物質文化からみる人類文化」報告　佐野　賢治
アチック・ミューゼアムの民具コレクション(29)　オミキスズ・オミキノスズ　吉田　晶子
◇516（43-12）2011.3　A5　24p　350円
異人の笛—ラーメン屋台のチャルメラ考　厚　香苗
農具としての鉈　佐々木長生
第43巻総目次
日本常民文化研究所　2010年度活動報告より

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
℡0467-22-0315
◇123　2010.12　A5　132p　680円
《特集　神酒Ⅱ》
口絵　祭りと酒
エッセイ　神社　太田　和彦
祭りと酒　岩井　宏實
頭屋と酒　神崎　宣武
季節の行事と酒—伝統とは何か？守りたいもの、伝えたいものがありますか？　新谷　尚紀
盃事の民俗　板橋　春夫
畑作と酒—収穫祝いの麦酒・予祝の稗酒　吉川　祐子
小論文
杜氏の信仰　藤田千恵子
酒造り歌　長野　隆之
泡盛以前の酒—口噛み酒と神酒　萩尾　俊章
どぶろく祭り　渡辺　良正
資料　主な「酒」の名称を持つ祭と伝承する神社全国一覧　茂木　栄
口絵解説　祭りと酒　渡辺　良正
八幡宮紹介　龍造寺八幡宮（佐賀県佐賀市白山町）
新刊紹介　『静岡人　久能山東照宮特別号』、『永遠の聖地　伊勢神宮』千種清美著

中　部

◆鑑 賞　新潟文化財鑑賞会
〒950-0852新潟市東区石山3-12-19
斎藤寿一郎方　℡025-286-1740
◇32　2011.2　A5　110p
平成22年新年記念講演会概要　近世・近代の越後を開発し支えた「小農経営」　松永　靖夫
古層日本語とアイヌ語系地名—地名から見える日本人の歴史　長谷川　勲
弥彦神領の「穢多」・ノート　佐藤　泰治
長岡藩・新潟御蔵所　亀井　功
パプアニューギニアの旅　土井　喜一
近くて遠い国を眺める旅（板門店ツアー）　本間　文雄
第3回越佐地方史談話会の開催　中村　義隆
平成22年文化財鑑賞研修旅行について
埼玉県の文化財めぐり　小山　正春
奥山荘の歴史・文化財を訪ねて　藤井　保男
事務局だより
シンボルマーク解説　小塚　佶

◆高志路　新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方　℡025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇349　2011.2　A5　30p
大日坊から湯殿山、羽黒山へ　佐藤　和彦
越後人の修姓事例および漢詩総集概説　鶴巻　武則
海際の穴熊狩り—新潟県糸魚川市上路の事例　森　俊
小千谷周辺の絵紙展示習俗　広井　忠男
富山県入善町上野邑地区のサイノカミ行事　金田　文男
松之山「婿投げ」・「墨塗り」有志見学会　高橋　郁子
新潟県立歴史博物館　平成22年度冬季企画展　布といのちと美—山崎光子コレクションのまなざし

◆佐渡学センターだより
〒952-0021新潟県佐渡市秋津1596　両津郷土博物館内　℡0259-23-2100　2007年創刊
www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/denbun/
◇2　2010.12　A4　4p
「大地の遺産」の保存と活用　渡邉　剛忠
写真だより　国指定天然記念物「平根崎の波蝕甌穴群」
相川郷土博物館の紹介　山口　忠明
文化財散歩道
両津地区　久知河内と長安寺　野口　敏樹
ジオパーク講座「偏光顕微鏡の作成」（第4回内容）　神蔵　勝明
掲示板　平成22(2010)年に刊行された佐渡関係の主な出版物
◇3　2011.1　A4　4p
実物をみるジオパーク活動／写真だより　神蔵　勝明
佐渡国小木民俗博物館の紹介／佐渡学セミナー、開かれる
文化財散歩道「春日崎」の文化財
活動報告／ご案内と報告

◆長岡あーかいぶす
長岡市立中央図書館文書資料室
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立互尊文庫２階　℡0258-36-7832
2005年創刊
www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/
◇10　2011.2　A4　4p
文書の虫—寺泊中学校の昭和　小林　良子
災害と文書資料室(6)　被災資料の保存と活用—山古志地域への返還作業を通して　田中　洋史
今年度も災害アーカイブ展を開催しました！　田中　祐子
長岡の碩学(10)　小金井良精（1858.12.14-1944.10.16）　桜井奈穂子
所蔵資料を展示しています！　田中　洋史
古文書クイズ(10)—ちょっと一息
史料保存こぼればなし(3)　石井　順子
歴史公文書の整理を行っています　和田　彩

◆新潟県文人研究　越佐文人研究会
〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2

℡025-688-5335　1998年創刊
◇13　2010.12　B5　160p
既刊号総目録
巻頭特集　石川侃斎
琵琶湖周航の歌と吉田千秋　旗野　博
相馬御風宛書簡について(5)
—佐藤吉太郎・耐雪　金子善八郎
越後最後の瞽女　小林ハルさんの
周辺を探って　鈴木　仁
亀田鵬斎と『仏説摩訶酒仏妙楽経』
(続)　石井　公成
清国書家の来越(2)—徐晏波と王
治本を中心として　田宮　覺
保阪家と日下部鳴鶴　田宮　覺
望憶・新潟書師百家　伊藤　鳩南
會津八一先生調べのメモノート　飯田　素州
會津八一関係の最新情報　池内　力
山岡荘八と俳句　山森　勲
舟江の化政天保文化・石川侃斎　岡村　鉄琴

◆日本学研究　日本佐渡学会
〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43
℡042-394-5078　1999年創刊
◇13　2010.12　A5　217p
『日本霊異記』の時代観　松尾　光
『源氏物語』の前坊
—桐壺帝の弟宮　石川　倫子
『中朝事実』の欠字と神々に関す
る用語について　秋山　一実
W・P・ウッダードコレクション
所収「岸本英夫日記」について
清水　節
史料　熱田神宮編年史料(稿本)
中世五　藤本　元啓

◆日本佐渡学　日本佐渡学会
〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43
℡042-394-5078　1999年創刊
◇12　2010.12　B5　64p
学術講演
我が郷土と私の創作活動　安倍　彩矢
研究発表
佐渡の民謡　渡辺　和弘
庚申信仰とは何か　新保　哲
佐渡と越後の風の三郎の由来に
ついて　田上　善夫
特別寄稿　私の白山信仰　北本　豊春
平成22年度大会の概要
編集後記（安倍彩矢）／編集後記
に替えて（新保哲）

◆良寛だより　全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2　北方文
化博物館新潟分館内　℡025-222-2262
◇131　2011.1　B5　24p
良寛遺墨解説(89)　加藤　僖一
良寛尊像つれづれ(93)
手毬をつく良寛　三森九木筆　涌井　茂
折々の良寛(20)
良寛の「京都紀行」を尋ねて　長谷川義明
全国良寛会秋期役員会開催される
加藤　僖一
平成23年　第34回全国良寛会総会
in 新潟(予告)
全国良寛会総会 in 新潟
見学会のご案内
新潟市美術館—良寛遺墨の名品
を展示
新潟市歴史博物館　「飴屋看板」
五点を特別展示　伊東　祐之
北方文化博物館　豪農の館—心
のご馳走を求めて　佐藤　隆男
新潟良寛会総会　記念講演　良寛
の「ひとり遊び」の自由な生涯
は、なぜ可能だったのか(3)　長谷川洋三
良寛の宇宙　天上大風(3)　石川　嘉一

生きてこそ—芭蕉・良寛・耐雪　辻　未知
日国　サーフィン—「日本国語大
辞典」編集者による日本語案内
吉田　福恵
「日本短歌大会 in 新潟」開催され
る　加藤　僖一
良寛ゆかりの地をめぐる旅—良寛
の京都・吉野紀行と奈良　加藤　僖一
トピックス／新刊紹介／会報会誌
紹介

◆とやま民俗　富山民俗の会
〒930-0881富山市安養坊56甲-1　富山市民
俗資料館内　年3000円　1974年創刊
◇75　2011.1　A5　22p
渡辺党の越中下向
—伝統と史実の狭間を窺う　松山　充宏
利賀村奥大勘場民俗点描(5)—時
間認識に関する伝承を中心に　森　俊
越中八講田の習俗を知る　今井　六郎
五箇蓑(1)—松田家の古蓑と五箇
蓑について　般林　雅子
黒部市下立の六十六部廻国供養塔
佐伯　安一
談話室・民俗の窓・会務報告・文
献紹介・受贈図書

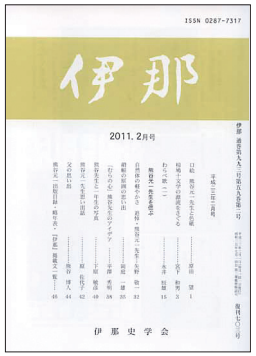
◆若越郷土研究　福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井市下馬町51-11　福井県立図
書館内　℡0776-33-8860　年3500円
◇291（55-2）2011.2　B5　66p
東尋坊(本瑞寺)の成立と城下の東
派寺院　松原　信之
福井城本丸指図の年代について
—文政から寛永期まで　国京　克巳
幕末の対馬の危機的情勢
—日本海保全との関連　三上　一夫
明治・大正・昭和　敦賀浄曲界　小林　敏

◆MARUBI
富士吉田市歴史民俗博物館だより
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
℡0555-24-2411　www.fy-museum.jp
◇35　2010.10　A4　8p
富士吉田あれこれ　市制祭
博物館Report
レポート　平成22年小室浅間神
社御更衣祭　高橋　晶子
身禄堂の由来と変遷(前)—田辺
家の御神前から山元講の身禄
堂へ　篠原　武
Information　博物館からのお知らせ

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
℡0265-53-4670　www.city.iida.lg.jp
◇50　2011.2　A4　4p
旧飯田町・旧上飯田町(村)の史料
情報をお寄せください！
「書を捨てよ、町へ出よう」　条原　明
記憶を言葉にそして文字に
語り継ぐ満蒙開拓　北山ひろみ
飯田･下伊那史料叢書2 建造物編1
刊行案内『本棟造と養蚕建築』
リレーエッセイ
〈民権国家〉への連帯　金　早　雪
歴研ゼミ/地域史講座　飯田・上
飯田の歴史／定例研究会／歴史
研究助成報告会を開催します

◆伊　那　伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
℡0265-22-6017　年5500円
◇992（59-1）2011.1　A5　50p　500円
口絵　上久堅最後の養蚕農家　寺田　一雄
享保9年(1724年)伊豆木村の天候　久保田安正
売木の方言集—50年前の記録　神村　透

70年前の「休み帳」　大原千和喜
育て方　加藤真那生
むじなの小豆洗い　依田　時子
下伊那の養蚕の歩みと現状　寺田　一雄
今も続けている
　川路　牧内辰明家の養蚕　寺田　一雄
下伊那日録（2007年2月）
◇993（59-2）2011.2　A5　50p　500円
口絵　熊谷元一先生と色紙　原田　望
椋鳩十文学の源流をさぐる　宮下　和男
わらべ歌(1)　永井　辰雄
熊谷元一先生を偲ぶ
　自然体の軽やかさ
　　追悼・熊谷元一先生　矢野　敬一
　緞帳の原画の思い出　岡庭　一雄
　「むらの心」
　　熊谷先生のアイデア　平澤　秀明
　熊谷先生と一年生の写真　下原　敏彦
　熊谷元一先生思い出話　原　佐千子
　父の思い出　熊谷　博入
　熊谷元一出版目録・略年表・『伊
　　那』掲載文一覧



＊明治42(1909)年長野県会地村(現・阿智村)生まれで、昨年11月6日に101歳の天寿を全うされた熊谷元一氏を偲ぶ。地元で代用教員をしていた21歳の時に、雑誌「コドモノクニ」へ童画を送り武井武雄に認められ、たくさんの絵本を残した。題材は、山の村の生活や伝承によるものが多く、95歳の時に、自らの小学生頃の遊びを今に伝えたいと描いた『じいちゃんの子どものころのえ』(冨山房インターナショナル、平成18年)では、産経児童出版文化賞を受賞している。熊谷氏の郷土史の方面での業績は、絵本と同様に、郷土の様子を同時代史で写した写真作品に大きい。昭和28年、岩波写真文庫『かいこの村』。30年、同『一年生』で第1回毎日写真賞。32年、矢澤昇氏との共作『牛のお産』で報道写真コンクール1位。41年に小学校を退職し東京都清瀬市に移るが、63年に郷土昼神温泉に「ふるさと童画写真館」を開館。平成6年、『熊谷元一写真集』全4巻(郷土出版)を出版し、翌年、第48回毎日出版文化賞特別賞受賞。全ての写真ネガは阿智村に管理委託され、同村は「農村記録写真の村」を宣言、同9年から「熊谷元一写真コンクール」を開始している。

　同氏がいつも携えていたカメラは、どこにでもあるありふれた小型カメラで、絶えず、自分はアマチュアカメラマンであると語っていたという。それ故にこそ、同氏の写真作品は、郷土史資料として極めて貴重であることは元よりであるが、土地に生きる人たちの生活と、郷土が長い歴史の中で育んできた風景が、まさに心の記憶がとして、素朴で暖かく捉えられており、見る者の心に深い感銘を与えるのである。

◇994（59-3）2011.3　A5　50p　500円
口絵　文永寺の駒つなぎの松　山内　尚巳
三河民権家国事犯事件と発覚地の
　飯田地方(3の3)　明治期の伊那
　谷における不二道から実行教へ
　の移行　北原　明文
深見の池の成因とその周辺につい
　て―寛文二年の大地震によると
　されているが　松澤　英男
“あきはみち”に寄せる人々の心
　(27)―西渡から秋葉山への道　大原千和喜
飯田市鼎下山宝暦庵における「厄
　除け」祈祷行事　矢崎　晴美
昔の大明神　今村　隆昭
石灰焼窯の跡地をたずねて　清水　澄雄

◆伊那路　上伊那郷土研究会
　〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
　TEL0265-78-6719　年5000円
◇648（55-1）2011.1　A5　40p　500円
明けましておめでとうございます
長野県箕輪町南原遺跡出土の人面
　付注口土器　渡辺　誠
味噌薬師と味噌なめ地蔵　中崎　隆生
権兵衛街道に愛着を持つ木曽宮越
　の人びと　神村　透
板山弘を偲ぶ　有賀　元栄
思い出の人・思い出の事(6)　盗
　まれた名画　佐竹蓬平の三幅対
　　桃澤　匡行
短歌　いろはにほへど(3)　野溝　直人
『箕輪史資料集』について　矢澤　喬治
伊那谷の冬鳥
　―民俗の窓を通して(9)　吉田　保晴
文化短信　郷土ゆかりの画人　山
　本龍洞展　山本　勝
古文書の窓(98)　函館にて倅戦死、
　戦功の早期下げ渡しを　下平すみ子
師匠の背中(2)より(28)
　竹馬を捜す　若林　徹男
◇649（55-2）2011.2　A5　40p　500円
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
もう一人の理想的愛子(1)
　―伊勢路の如水　桃沢茂春　橋本　俊明
歌道を中心とした飯島文化の特質
　　竹入　弘元
桃澤茂春と伊那の歌人達　桃澤　匡行
「第11回上伊那郷土研究交流の集
　い」報告　吉田　保晴
「上伊那郷土研究交流の集い」に
　参加して　酒井　由里
「上伊那郷土研究交流の集い」に
　参加して　大林　元実
伊那谷のカワガラス
　―民俗の窓を通して(10)　吉田　保晴
上伊那の野外彫刻(80)
　ふれあい(木下公民館)　吉澤　正昭
文化短信　理兵衛堤防の石はどこ
　から運ばれたか　伊藤　修
考古あれこれ(10)
　赤羽焼窯跡保存顛末記　赤羽　義洋
師匠の背中(2)より(29)　大掃除　若林　徹男
◇650（55-3）2011.3　A5　48p　500円
《特集　春の高校伊那駅伝》
定着した全国規模の「春の高校伊
　那駅伝」―特集を組むに当たっ
　て　『伊那路』編集部
春の高校伊那駅伝の主な歩み
駅伝を架け橋に　白鳥　孝
春の高校伊那駅伝を顧みて　城田　忠承
報道現場から見た高校伊那駅伝　中村　賢二
第25回大会によせて
　―『第25回大会記念誌』より
　　鶴谷邦弘／渡辺公二／荻野由信
春の高校伊那駅伝に寄せて　両角　速
多くの方々に支えられて発展した
　「春の伊那駅伝」　玉城　良二
思い叶った瞬間　伊藤　国光
感謝の第1回大会に参加した思い
　出　白鳥　博文
第1回大会に想いを馳せて　百瀬　定雄
高校駅伝に思う　福沢久美子
春の高校伊那駅伝大会によせて　原野　明恵
上伊那開催に感謝　松崎　雄介
春の高校駅伝と芝桜　小坂　樫男

駅伝に伴う伊那市中心商店街の取
り組み　牧田　淳志
伊那路を駆ける我が母校「世羅」　吉澤登志子
上伊那の野外彫刻(81)
平和 友好 飛躍(平和の森)　吉澤　正昭

◆伊那民俗　柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内　TEL0265-22-8118
年3000円
◇83　2010.12　B5　8p
須沢集落の社会的変遷　今井　啓
『遠山谷中部の民俗』を読んで　前澤　憲道
『遠山谷中部の民俗』を読んで　北島　花江
柳田国男の『信州随筆』研究(19)
「御頭の木」薙鎌とは何か　中島　悦子
伊那近代思想史研究会(30)　森本
州平日記より「組合の将来、
村経済の将来を思へば、如何に
成り行くべきか。あゝ。」　粟谷真寿美

◆史学 義仲　木曽義仲史学会
〒390-1401長野県松本市波田5904-5
千村清文方　TEL0263-92-6815　年3500円
1999年創刊　shigakukai.hyu.jp
◇12　2011.2　A5　99p
木曽義仲と関わりのある人物　内藤　武美
梓弓の考察　児玉　多聞
解説　義仲は征夷大将軍説　高坪　守男
木曽義仲の活躍した平安時代　と
りわけその末期の世情と政情　今井　弘幸
木曽義仲を支えた東・北信濃と西
上野の武士と波紋　井上　正明
木曽義仲及び、義仲にまつわる歴
史的伝承地は詩歌としてどのよ
うに詠まれているか(1)　楯　英雄
義仲マメ知識

◆信 濃　信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785　年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇732（63-1）2011.1　A5　78p　900円
《民俗学特集号》
俗信の発生—タナバタ祭の禁忌を
事例にして　中田　亮
道祖神の柱立てと火祭りとの関係
—安曇野・松本平・上伊那の事
例から　浜野　安則
研究ノート　信州安曇野　夏の道
祖神祭りとは何か　巻山　圭一
資料紹介　長野県木曽郡木曽町旧
三岳村公民館所蔵写真集『文化
財資料』『文化財基礎調査資料』
神村　透
受贈図書紹介
◇733（63-2）2011.2　A5　82p　900円
アジールの変容と駆込寺　佐藤　孝之
甲斐武田氏の北信濃侵攻と支配実
態　柴辻　俊六
戸隠神私考　桐原　健
近世後期の信濃国・越後国における豪農の広
域金融活動(下)—更級郡今里村更
級家を事例に　福澤　徹三
信濃における里山系寺院の成立と
展開(下)　牛山　佳幸

◆千 曲　ふるさとに学ぶ　東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13　上小
教育会館内　TEL0268-24-2182　年3000円
◇146　2011.2　A5　54p
安政六年、上田藩の生糸輸出(1)　阿部　勇
和算家と算額　大室　昂
日本人の基層文化にある「サケ・
マス」の信仰(1)—千曲川・上
田小県地方の「天白・大天白・
大星」神を追って　臼田　明
七世紀より前の富士山　柳沢　賢次
窓(4)「青い目の人形メアリー」
から戦争を考える授業　武内　洋文
連載講座
古文書解読講座　第139回　宮原　英夫
地区だより

◆長 野　長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673　年4000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇275　2011.2　A5　48p　700円
「極付　国定忠治」五幕七場(行友
李風・大正八年作)より　権堂
の場面(1)
芝居「国定忠治」を演出して　西村　和宏
須田右衛門大夫万胤について　志村　平治
小林計一郎の原点(5)
渡辺敏先生伝(3)　小林計一郎
歴代本因坊と信州(5)
十四世跡目秀策　中田　敬三
ダライ・ラマ法王十四世の来長(4)
小林　玲子
私たちの会のあゆみ「上田城下
の恵比寿・大黒・弁天・毘沙門
天めぐり」に参加して
山口昇／萩野祐／東澤加代子

◆長野県民俗の会通信
〒399-7104安曇野市明科七貴6535-5　巻山
圭一方　TEL0263-62-6535　年5000円
www.janis.or.jp/users/folk/
◇221　2011.1　B5　8p
現代版「話を聞く会」の試み　三石　稔
『長野縣町村誌』という資料　木下　守
葉書でつぶやくコーナー
「ありがとう」が出てこない　倉石　忠彦
定期市の復活　木下　守
平成22年度総会の報告　事務局

◆静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1　静岡大学
情報学部　荒川章二研究室内　年4000円
◇388　2011.1　B5　6p　200円
大逆事件判決・処刑100年に寄せ
て　田中伸尚、黒岩比佐子両氏
の著作のことなど　加藤　善夫
1月例会レジュメ
新村猛における戦争と平和　成瀬　公策
新刊紹介　一橋大学大学院社会学
研究科先端課題研究叢書5　木
本喜美子・貴堂嘉之編『ジェン
ダーと社会—男性史・軍隊・セ
クシュアリティ』　平井　和子
伊豆震災80年　桜井　祥行
新刊紹介　川崎司著『高木壬太郎』
樋口　雄彦
◇389　2011.2　B5　4p　200円
風船爆弾製造をめぐる地域社会戦
時体制—埼玉県比企郡小川和紙
生産地の戦争史　一條　三子
図書紹介　小田部雄次『皇室と静
岡』静新新書036・2010年　村瀬　隆彦
歴史随想　大逆事件—新宮市と浜
松を結ぶ線　小池　善之
◇390　2011.3　B5　4p　200円
3月例会レジュメ　その1　占領政
策「初期対日方針」の一考察　荻野　達成
3月例会レジュメ　その2　戦後国
民の戦争責任意識　藤田　直也
3月例会レジュメ　その3　横浜貿
易における相州在方茶商の茶流
通網—茶加藤と駿遠茶商との関
わり合いを中心に　菊地　悠介
図書紹介　財団法人伊豆屋伝八文

化振興財団『紀要 第3号 静岡県の歴史文化遺産』 村瀬 隆彦

◆静岡県民俗学会会報
〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇138 2011.1 A4 6p
第4回卒業論文発表会・相談会
伝承者の苦悩—揺らぐ「伝統」 吉川 祐子
シリーズ食(14)
水窪の食—ソバとジャガイモ 中山 正典
静岡の民俗語彙・方言短信
北遠(旧龍山村)の方言 富山 昭
博物館情報／受贈資料・刊行物紹介

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇465 2011.1 B5 4p
1947(昭和22)年、伊豆の小学校
1月1日の記述から、当時を探ってみる。 校務日誌から見る正月の様子
終戦の翌々年→1947(昭和22)まで「紀元節」は祝日として休日／「紀元節」名称を変えて登場／紀元節に発布された大日本帝国憲法／大日本帝国憲法発布頃伊豆の様子
◇466 2011.2 B5 4p
1920(大正9)年12月発行「熱海と五十名家」斎藤要八著 とりあえず「目次」だけを列挙して置く
天恵の自然を利用せよ(1)(2) 有島 武郎

◆富士市立博物館だより
〒417-0061富士市伝法66-2
TEL0545-21-3380
◇57 2011.2 A4 6p
開館30周年を迎えて 渡会 義彦
第49回企画展「100年前の世界が見える、日本が見える—六所家旧蔵絵葉書コレクション—」より 井上 卓哉
活動報告 ボランティア活動報告
展示会案内 郷土の文人—香峰・麗山・空波—／包んで扇いで拭いちゃおう！ 働き者の紙コレクション

◆六所家総合調査だより 富士市立博物館
〒417-0061富士市伝法66-2
TEL0545-21-3380
◇8 2011.2 A5 32p
特集1 平成22年度六所家総合調査概報
日吉浅間神社境内にあった郡立病院 松田香代子
六所家旧蔵棟札類の吉凶寸法について 井上 卓哉
「東泉院代々住持帳」にみる東泉院歴代の事跡 大高 康正
特集2 特別調査概報
六所家墓所調査の概要

◆あつた 熱田神宮宮庁
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇229 2011.1 A5 28p
年頭のご挨拶 小串 和夫
熱田社の和歌と文学(30)
—真宗の二題 八木意知男
「愛知國學院小史」補遺ならびに中部神祇學校以後 太田 正弘

◆安城民俗 安城民俗談話会
〒446-0026安城市安城町清水23-4 川合正治方 TEL0566-76-6638 1993年創刊
◇35 2010.12 B5 14p
暖房具としてのアンカとコタツ 斎藤 卓志
江戸時代にみられる上条村の人口と家数他 渥美 精一
毎日が学習 松元美紀子
桜咲く甲州路の旅(続) 川合 正治
忘れ難き話者の方たちと麦酒祭の宮守 武村勝治氏 河村 和男
秋の研修旅行(知立地区)
旅行見聞記 加藤 研一
談話会活動記録

◆爽 恢 忠震会
〒441-1305愛知県新城市竹広字信玄原552
新城市設楽原歴史資料館内
TEL0536-22-0673
◇23 2010.4 B5 10p
アルスロンガ ヴィタブレヴィス 滝川 一興
岩瀬忠震公と幕末外交 金子 熊夫
将軍継嗣問題と岩瀬忠震 飯田 虎男
開国のジャワと鎖国のジャカトラ 小林 芳春
備中布賀知行所のこと 夏目 利美
日米条約交渉にかけたハリスの残したもの 伊藤 正英
『氷川情話』にみる岩瀬忠震 湯浅 大司
幕府満廷震動の中、忠震目付に抜擢 森野 進

◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会
〒489-0867愛知県瀬戸市大坂町416-9
伊藤良吉方 TEL0561-84-7044 1971年創刊
◇57 2010.5 B5 24p
座談会 津田豊彦さん、民俗学を語る
津田豊彦／井上清司／伊藤良吉／大野麻子／蒲池勢至／鬼頭秀明／小早川道子／寺西功一／服部典子／服部誠／脇田雅彦／脇田節子
短報 名古屋市「八事遊園地」—地名は歴史 吉岡 郁夫
余禄 恵方巻き考 服部 誠

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇551 (51-1) 2011.1 B5 8p 600円
群馬・宿の獅子舞 石川 博司
調査報告 宮島 社寺のまつり
厳島神社御島廻り御鳥喰式 米田 幸寿
五十周年記念事業期日決る／受贈資料紹介／2月のまつり／3月のまつり

◆もりやま 守山郷土史研究会
〒463-0075名古屋市守山区市場15-12
道木正信方 TEL052-791-2304 年3000円
1982年創刊
◇30 2011.1 B5 208p
村々連合祭礼
猿投神社と龍泉寺の馬の塔 木原 克之
瀬戸線あれこれ(3) 伊東 重光
地名でたどる父母の在所 徳田百合子
津田応助との出逢い 藤森 宏美
一八七三年 西尾 春子
奈良の旅 高橋 崇江
明治二年広小路にさらしもの多くあり 下(1) 加藤 英俊
資料紹介
長松山久岑寺の梵鐘 市江 政之
小幡村御觸留(22)
—明治六年 御用留 守山古文書の会
年表に見るヴェトナムの歴史と

安南銭　近藤　泰泉
大森村新田検地帳について　道木　正信
守山郷土史研究会の歩み(30)
守山郷土史研究会
平成22年発掘調査現地説明会資料
—南社古墳　守山郷土史研究会
変貌する瀬戸線(2)　荒川　康彦

◆史 料　皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇228　2010.12　B5　18p　300円
天平勝宝六年家原邑知識経の識語について　遠藤　慶太
神宮奏事始の成立　渡辺　修
資料紹介
三品彰英博士の書簡一通　荊木　美行
いにしえの伊勢(8)—絵葉書・古写真に見る戦前の宇治山田　山田　修司

◆大 光　大黒屋光太夫記念館だより
〒510-0224三重県鈴鹿市若松中1-1-8
TEL059-385-3797
◇12　2010.10　A4　4p
開館5周年記念展（第6回特別展）海のむこうへのあこがれ—漂流記と漂流文化
『おろしや国酔夢譚』『大黒屋光太夫』の比較　病床の船親父・三五郎(磯吉の父)が、船の人たちを集め、語る場面(アムチトカ島にて)／帰国後、将軍家斉に引見する(吹上上覧所にて)場面／エカテリーナ2世に拝謁する場面
◇13　2010.12　A4　4p
平成21年度　冬の企画展　大黒屋光太夫とロシアの文字
開館5周年記念事業終了しました
収蔵資料の紹介
大黒屋光太夫・讃　井上靖
おしらせ　東洋文庫にミュージアムがOPENします／特別展報告／隣接する旧若松公民館の取り壊し工事が始まります

◆大黒屋光太夫だより　大黒屋光太夫顕彰会
〒510-0224三重県鈴鹿市若松中1-1-8
TEL059-385-3797
◇33　2010.10　A4　4p
大黒屋光太夫記念館開館5周年を迎えて　川岸　光男
新緑吟行句会
光太夫と乗組員の史跡を訪ね
記念館からのお知らせ　開館5周年特別展「漂流記と漂流文学」
知っていますか
こんなところにも光太夫が！
事務局通信　第20回総会開催／開国曙光碑を移転／墓碑供養実施
光太夫や乗組員を偲んで

近　畿

◆蒲生野　八日市郷土文化研究会
〒527-0034滋賀県東近江市沖野2-4-3
TEL0748-26-0393　1968年創刊
◇42　2010.12　A5　138p
巻頭論文　近江の古代豪族　水谷　千秋
近江上布と山越商人　渡邊　守順
近江に咲いた大輪の花　額田王　伴　とし子
近江南部の惟喬親王伝説を追う　中島　伸男
「寺伝天徳寺址」石碑建碑と旧湖東町の古代氏族一考　和田　徳藏
賢友和田徳藏君のことは忘れない
久保　滋
横浜三渓園にある滋賀県内の道標
大塚　活美
八日市の地蔵堂に祀られた地蔵様
森野　吉雄
布引丘陵掩体群　後記　小杉　弘一
進化学について(5)
「人類の起源」への探究　松岡　教理
談話室
風景印に見るふるさとの自然と文化財　藤本　長蔵
満州・開拓お国のため—生還の記録　松村　博愛
蒲生野歌壇
西の京巡拝歌　出目　弘
心に残るわが故郷　喜多尾文代
懐かしい回想の背景　森口　則男
蒲生野アーカイブス

◆湖国と文化　(財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369　年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇134（35-1）2011.1　B5　92p　600円
《特集　芸能元年》
歴史性濃厚なパフォーマンス　民俗芸能、伝統芸能の明日を見つめる　中島　誠一
伝統芸能の現在
総勢179人名で5年ぶり奉納　慈雨返礼の伊吹山奉納太鼓踊り
高橋　順之
三役養成や子ども歌舞伎教室に着手　長浜曳山祭の華・子ども歌舞伎の伝承　小池　充
富田人形って何だ。　阿部　秀彦
町内会あげて踊りを伝承
草津のサンヤレ踊り　小川　豊
大津祭の舞台裏　小川　正
四季をめぐる健康食　冬編　体を温める食事で寒い日を快適に
小川久子／齊田充子／武田律子
興味津津　私の近江(10)
異文化交流が農村を救う　MOTOKO
現代滋賀ブランド(3)　近江の女性　戦国の世をたくましく生きた浅井三姉妹と養源院の不思議
畑　裕子
滋賀の伝説と民話「恵心僧都の水想観」　渡邊守順／斉藤裕子
編集長対談　湖に生きる(39)　びわ湖ホール芸術監督　沼尻竜典さん　根津眞澄／馬場和実
繊維力　滋賀の織物—その技と感性(1)　浜ちりめんの雅　森下あおい
滋賀文化事情　つきせぬ興味の宝庫　近江を愛した白洲正子の世界を探る　いかいゆり子
芸術の秋・文化の秋
文化賞　長年の取り組みに敬意
滋賀県の文化賞など３賞　県民文化課
文学祭　生涯現役で人生反映の作品目立つ　第60回滋賀県文学祭　岡本　光夫
写真展　作品全体にレベルが高く激戦　第49回滋賀県写真展覧会　川﨑　透
美術展　整斉美・様式美的傾向増える　第64回滋賀県美術展覧会　三原　博
湖国街・コミ(1)　琵琶湖にやさしく、滋賀にやさしく、地球にやさしく—ホントの“エコ”って何。　藤澤　武夫
湖国レディス・アイ(23)　琵琶湖とともに走り続ける　トライアスロンに取材に　木原　育子
近江の海　おーい老いと呼んでみ

る(23)　ネット社会　熊谷栄三郎
北から南から
清水貴子／源野孝彦／奈良薫／
森友美子／鈴木強／寺田直子／
安部愛子／磯部敏雄／編集室
新刊近刊　琵琶湖のカルテ　今関
信子／花結び手帖　寺本哲子／
明智左馬助　羽生道英
談話室(3)　万葉歌を歌う　比良たかし
湖國藝術紀行(7)　芭蕉と近江
晩年の心をとらえた門人との交
流と琵琶湖　木村　至宏
水源の森を訪ねて(33)最終回　圧
倒的なスケールを語る水源の森
のブナはヤシの感動的な冬の表
情—高時川源流の山々　檀上　俊雄
伝承にみる淡海(32)　連載を振り
返って(下)　心に残る近江独特
の伝承　黄地百合子
「湖国と文化」バックナンバーと
特集テーマ

◆民俗文化　滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
℡0740-36-1414　年4800円
◇568　2011.1　B5　12p　400円
人類の営みは永遠に普遍だ—昭和
・平成混乱期の伝承と民俗資料
館の重要性　菅沼晃次郎
長浜ウサギのフォークロア　馬場杉右衛門
羽子板の羽について　粕渕　宏昭
小谷落城と浅井一族の伝承(3)—
お市の方脱出と秀吉の夜討ち先
駆け　馬場杉右衛門
尾張国丸根砦の構造について
—名古屋市緑区大高町　長谷川博美
北遠風土記　田中　春二
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(8)　福沢　邦夫
木製の財布について　粕渕　宏昭
創立40周年の滋賀県立体育館
—大津市におの浜四丁目　粕渕　宏昭
二等兵比島従軍記(1)
—ルソンの戦場　馬場杉右衛門

民俗文化

＊当誌編集・発行人の菅沼晃次郎さんが巻頭に寄せる警世の一文には、毎号心を打たれる。本号では、戦災で全てを失った昭和24年に、新聞記事で「近畿民俗学会」の例会記事を読み、会の存在を知って澤田四郎作会長宅を訪ねて入会し、鳥越憲三郎氏に学んで、「庶民の歴史」である民俗学と出合ったことが、その後の人生を大きく変えたことから、現代社会を振返り、未来の人類のあるべき精神的な歩みに向けて提言する。科学技術がかって人類の歴史では考えられない程の速さで普及し、物質文明が日常的になって生活環境を大きく変えた結果、精神的な人類共生の理念が果たせていないことを示唆する。科学技術の発展と普及は、同じ地球上で生活する人類が一つになって、互いに助け合い、天命を全うできる心豊な社会、即ち「共生」の為にあるべきものであり、それには、身近な人類の歴史資料である民俗史資料の伝承が、今こそ重要であると理解させていただいたが如何であろうか。

◇569　2011.2　B5　12p　400円
人類の歴史は弱肉強食の記録—科
学技術を活用して永遠の平和を
菅沼晃次郎
小谷落城と浅井一族の伝承(4)
—浅井久政・長政の最期　馬場杉右衛門
佐和山城幻想(朱色の世界)
—彦根市佐和山町　長谷川博美
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(9)　福沢　邦夫
年賀はがきの昨今について　粕渕　宏昭
呼子(よびこ)について　粕渕　宏昭
ジュンサイについて　粕渕　宏昭
母の教えについて　粕渕　宏昭
探訪・姉川古戦場(1)
—真柄大太刀と七本槍　馬場杉右衛門
二等兵比島従軍記(2)—一期の検
閲と経理幹候試験　馬場杉右衛門
出雲の神話から(私考)　田中　春二

◆古代史の海　「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方　FAX075-392-3743　年4000円
www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
◇62　2010.12　A5　104p　1500円
巻頭言　公孫氏・韓・倭　半沢　英一
宝賀寿男「両面宿儺と飛騨国造」
を読んで　尾関　章
上代特殊仮名の根本的解明(16)　坂田　隆
三国・魏の薄葬令と卑弥呼の冢　下司　和男
会員ひろば
アンデス通信(15)　市木　尚利
“ハヤト”について　竹本　義昭
マキムクはマキの向い　渡部　正路
東城王と武寧王(後)　鮫島　彰
「其の北岸」をめぐって　堀口　清視
日本、日の丸を音価から遡行する
(中)　白名　一雄
卑弥呼と宇佐神宮比売大神(2)　鷲崎　弘明

◆史迹と美術　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146　中西ビル内
FAX075-441-3159　年8000円
◇811（81-1）2011.1　A5　34p　915円
京都山科毘沙門堂銅燈籠の謎　石塚　雄三
鬼瓦百選(90)　小林　章男
風水研究(5)
『営造宅経』和訳(6)　寺本　健三
第952回例会
北野天満宮と周辺の文化財　加藤　繁生
関係誌紹介
◇812（81-2）2011.2　A5　34　915円
清寧・顯宗・仁賢・継体紀小考
(上)　田寺　英治
鬼瓦百選(91)　小林　章男
お万の方寄進金工品二口　佐藤　郁太
第953回例会　加古川の古刹と兵
庫県立考古博物館　八田　洋子
第954回例会　岐阜県・中濃路の
仏像・石造を訪ねて　岩崎　幸一
関係誌紹介
第33回総会報告

◆史談福智山　福知山史談会
〒620-0884福知山市堀495-3
塩見昭吾方　℡0773-22-7546
◇700　2010.7　B5　8p
福知山史談会報七百号記念号
会報発刊の辞　創刊号より
記念論文　御霊さんの榎　岡部　一稔
◇701　2010.8　B5　4p
福知山史談会夏の例会　緑陰講座
(報告概要)　編集者より
◇702　2010.9　B5　4p
おみくじ額について

—善行寺と道官稲荷　大槻　伸
◇703　2010.10　B5　4p
瓦は語る—銅門番所の鬼瓦　大槻　伸
◇704　2010.11　B5　4p
子孫が語る本能寺の変—驚きの真実　歴史研究家　明智憲三郎氏
会員からの60周年お祝いの辞　東京在住　伊木宏氏より
◇705　2010.12　B5　4p
徴兵制度と天田郡での実情の一端　塩見　昭吾
コラム　『天田郡案内と事蹟の一班』について　付『篠田實の生涯』の訂正方依頼　塩見　昭吾

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
℡075-465-8151
www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/
◇51（18-2）2010.12　A4　20p
スポット　ミュージアムの所蔵品（48）　セロハンポスター「国語全解運動」
巻頭つれづれ　永井隆記念館（雲南市）を訪ねて　安斎　育郎
館長だより　日ロフォーラムに参加して—ウラジオストクにて　高杉　巴彦
ここが見どころ　戦争展示の難しさ(3)—「戦争は批判すべき」ではない　小関　素明
運営委員リレー連載　ロボット三原則　吉川　恒夫
ミュージアムおすすめの一冊　ミーシャ・グレニー著『ユーゴスラヴィアの崩壊』（白水社　1994年刊）　西村めぐみ
ミニ企画展開催報告（2010年9月～2010年10月）
事業報告　文字・活字文化の日「平和って、なに色」／立命館創始140年・学園創立110周年記念「わだつみ像」生誕60年記念／小中学校教員対象下見見学会2010／2010年度博物館実習受け入れ／ジョグジャカルタ王宮舞踊とガムラン公演／インターンシップ受け入れ／映画上映会「ひろしま」

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方　℡0724-28-0204　年1200円
◇277　2011.1　B5　10p
河内三善氏の和泉へのまなざし（下）　堀内　和明
大宮神社の再興(4)　上田　繁之
伝承百人の佐野物語(3)　清少納言の枕草子と蟻通神社　北山　理
◇278　2011.2　B5　10p
史料紹介「水間鉄道延長紀泉鉄道設置認可に対する意見書」(上)　宮田　克成
大宮神社の宮座(1)　上田　繁之
第一室戸台風・ジェーン台風　北山　理

◆WEAVE　『貝塚市の70年』編纂だより
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
℡072-433-7125　2010年創刊
◇2　2011.1　A4　4p
編纂だより速報　第1回「貝塚市の成立」
貝塚市の建築
アーカイブスの構築

◆大阪の歴史　大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内　℡06-6539-3333
1980年創刊
◇76　2011.1　A5　126p　700円
町惣代(1)　野高　宏之
上町台地の文化遺産をとりまく景観とその変遷—関西大学大阪都市遺産研究センター所蔵「牧村史陽旧蔵写真」に見る史跡・名所・寺社　内田　吉哉
明治初期における旧大阪三郷の貸家　深田智恵子
戦前の大阪市保健事業と藤原九十郎　樋上恵美子
史料紹介　元禄期の大坂目付(上)—若狭野浅野家文書の大坂目付関係史料の紹介　上田　長生
「住吉は1800年。」展記録　野高　宏之
福山昭さんを悼む　武知京三／堀田暁生
みおつくし　公文書管理法　松岡　弘之
新刊図書紹介　『大阪の橋ものがたり』、『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料(近代一)　慶応元年～明治二十年』、『大阪の地名由来辞典』、『大阪オーラ　日本を予見する日本のハート』、『近代大阪の出版』、『なにわの歴史八景』
受贈図書資料／収集彙報／市史編纂日誌

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
℡06-6931-1081　年5000円　1984年創刊
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
◇317（28-1）2011.1　B5　8p
年頭所感　尖閣列島の領海侵犯に思う　松坂　定徳
12月例会報告(第292回)「江戸期における朝鮮通信使と大阪」中尾清氏／第二部　映像の20世紀
千葉周作の出身地と名刀の謎(14)　千葉周作の名誉を慮る／(15)「寅松」の復活　松坂　定徳
会員投稿　寛政の三奇人　山崎　保雄
事務局からの報告　大阪歴史懇談会　平成22年の忘年会
◇318（28-2）2011.2　B5　12p
浪速今昔百景(1)　天王寺さん(四天王寺)　川村　一彦
1月例会報告(第293回)「大津絵と三井寺—大津絵誕生の母胎」福家俊彦氏／古文書講座(第125回)「有馬郡生瀬村小入用帳抜粋」　石川道子先生
千葉周作の出身地と名刀の謎(16)　出生地を再確認　松坂　定徳
事務局からの報告　大阪歴史懇談会　有志で新年会

◆家系研究協議会会報
〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
島野穣方　℡072-634-5909　年5000円
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇35　2011.1　B5　10p
年寄りの冷や水　牛田　義文
家系研究協議会創立30周年大会報告
弔　慰　安居　隆行
故瀧井宗俊様　追悼　垂水嘉平太
故西村彦次さんを偲んで　島野　穣
珍名さんいらっしゃい(32)　眞野　幹也
家研協たより／図書出版案内／受贈図書・資料

◆河童通心　和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327

℡072-251-2586　年2400円
◇326　2011.2　A5　20p
河童の文化史　平成期(7)　和田　寛
◇327　2011.3　A5　20p
河童の文化史　平成期(8)　和田　寛

◆近畿文化　近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
℡06-6775-3686　年2200円
◇734　2011.1　A4　10p　300円
鳥羽・朝熊・伊勢の大神宮　岡田　登
衣笠山周辺の史跡　田中　嗣人
◇735　2011.2　A4　8p　300円
京都東山の庭と古建築　江ヶ崎善太郎
畝傍山周辺の遺跡と藤原宮跡　森下　恵介
◇736　2011.3　A4　8p　300円
東山道・東海道に沿う近江の社た
ち　水野　正好
壬申乱を走る(4)
—瀬田橋の戦い　猪熊　兼勝

◆近畿民俗　近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
℡06-6709-8533　1949年創刊
◇178･179　2011.1　A5　110p
大正・昭和の郷土趣味と民俗研究
伊藤　廣之
続・二十一世紀に残したい「ふる
さと美山の言葉」　西浦　左門
「家島十一景詩歌」の作成に関す
る一考察　奥山　芳夫
木澤甚六正矩「津連づれ年代記」に
みる近江湖東幕末の暮らし(1)　森　容子

◆近畿民俗通信　近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方　℡06-6709-8533　2009年創刊
◇6　2010.12　A4　4p
ある真言宗寺院の住持継承次第—
播磨国網干円融寺慈芳の場合　奥山　芳夫
第40回記念　年次研究大会報告　森　成元

◆左海民俗　堺民俗会
〒590-0144堺市南区赤坂台1-46-9
℡072-298-6331　年3000円
◇135　2011.1　B5　10p
堺の名刹の謎　岸　繁司
特別寄稿
種子島の「堺北之町」大踊り　下野　敏見
《特集　漬物》
にしん漬け　佐原　浩二
私の食べた漬物三品　堀田　俶子
おつけもの　川村　淳二
鰊の麹漬　岸　繁司
例会報告と一口メモ
7月例会報告（7月25日）
高師浜から浜寺公園を歩く　川村　淳二
9月例会報告（9月25日）
三好一族の郷を訪ねる　佐原　浩二
10月例会報告（10月17日）
須恵器の里を歩く　小谷寛／森村健一
10月特別例会報告（10月2日）
熊野古道Ⅰ（八軒家～住吉大
社）　下谷　佐吉
◇135　2011.1　B5　10p
堺の名刹の謎　岸　繁司
特別寄稿
種子島の「堺北之町」大踊り　下野　敏見
《特集　漬物》
にしん漬け　佐原　浩二
私の食べた漬物三品　堀田　俶子
おつけもの　川村　淳二
鰊の麹漬　岸　繁司
例会報告と一口メモ
7月例会報告（7月25日）
高師浜から浜寺公園を歩く　川村　淳二
9月例会報告（9月25日）
三好一族の郷を訪ねる　佐原　浩二
10月例会報告（10月17日）
須恵器の里を歩く　小谷寛／森村健一
10月特別例会報告（10月2日）
熊野古道Ⅰ（八軒家～住吉大
社）　下谷　佐吉

◆つどい　豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方　℡06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇276　2011.1　B5　20p
服部天神社　絵馬
公民館活動が元気の源！　田中　省三
市民講演会が開かれました
考古学からみた3～5世紀の山城　笠井　敏光
節分の懸想文売り　石塚　一郎
信太の古代史探訪と弥生文化博物
館　秋季特別展「邪馬台国—九
州と近畿—」　弥田　勇
坂口先生と行く大分・熊本の古代
史を探る旅(2)　古高　邦子
◇277　2011.2　B5　20p
考古学から見た三～五世紀の近江
中司　照世
吉野金峯山寺　蔵王権現拝観と宮
滝遺跡見学　石尾　賢一
石人山古墳　石塚　一郎
◇278　2011.3　B5　18p
藤原京から平城京へ　市　大樹
伏見三陵・月桂冠大倉記念館見学
と新年会　今中　典男
W・ブラムセンの情熱
—『和洋對暦表』と古代日本　石塚　一郎

◆歴史考古学　歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方　℡072-331-6679
年3000円　1978年創刊
◇63　2010.12　B5　75p
口絵図版　大津市下仰木東光寺弥
勒石仏／中国河南省安陽市霊泉
寺道憑法師焼身塔(西塔)、中国
山東省済南市神通寺四門塔
滋賀県大津市下仰木東光寺建永二
年銘弥勒石仏—附、境内と近接
地の宝篋印塔残存部材小考
歴史考古学研究会研究部会
奈良県山添村中之庄所在五輪塔と
地下遺構　狭川真一／和泉大樹
宮崎県高原町の中世石造物　縣　敏夫
丹後旧与謝郡・加佐郡の石造美術
篠原　良吉
宝篋印塔の段型　多田　準二
五輪塔の地輪幅高比と年代につい
て　片岡　晋祐

◆あわじ　淡路地方史研究会
〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8
℡0799-24-1512　年6000円　1984年創刊
◇28　2011.1　B5　86p
はじめに　武田　信一
没後三十年大内兵衛—ふるさとを
想う誠実な学者・淡路の英傑勝
海舟—に寄せて　大江　恒雄
寛文年間(1660～73)頃の金屋村に
ついて　北山　學
淡路島と由良要塞の決戦態勢につ
いて　定本　義広
庚午事変から九十年　阿・淡懇談
会が始めてもたれた日　濱岡きみ子
明治の偉大な教育者　原來太郎先
生記念碑　松本　義為

秋の社日祭と社日信仰—南あわじ
市賀集の事例を中心に　堀部るみ子
「熊神籬」について(3) 最終回—
鈴木重胤は「常磐草」「淡路草」
をどう詠んだか　高田　成樹
言葉の幸はふ国、淡路島のことば
(4)　伊郷　好文
淡路霊場記(2)　武田　信一
鍼灸随想　羽田　功一
研究会バス旅行を謳う(17)
大和路の旅・讃岐路の旅　生田　静子
報告　会員の著作物紹介、会員の
受賞、会員の書籍出版／淡路地
方史研究会例会記録

◆史料ネット　NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
℡078-803-5565　年1000円
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
◇64　2010.12　A4　12p
巻頭言　情報メディアの発達と災
害対応—奄美豪雨対応をめぐっ
て　中野　賢治
第3回神戸・阪神間歴史講座のお
知らせ
奄美豪雨災害の状況と史料ネット
の対応　中野　賢治
神奈川県における被災史料確認調
査　宇野　淳子
台風9号と宍粟市
—宮町閏賀地区区有文書　板垣　貴志
「水濡れ史料の吸水乾燥ワークシ
ョップ」の実施—5年の歩みを
通して感じたこと　河野　未央
「第12回火垂るの墓を歩く会」参
加記　澤井　廣次

◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
℡0798-33-1298　1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇34　2010.7　B5　8p
資料紹介 「西宮勤番所絵図」　衛藤　彩子
◇35　2011.2　B5　8p
第26回特別展示「西宮の山岳信仰」
早栗佐知子
西宮市山口町下山口の百味講　細木ひとみ

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内　℡0798-33-0321
◇514　2011.1　B5　8p
1月行事案内　堀内ゑびすコレク
ション　めでた尽し！福の神
講演　えびすだいこく異聞
幕末の志士達を奔らせた「陽明
学」と「朱子学」　山下　忠男
伊勢参宮本街道を歩く(47)／東海
道新景観(9)　吉井　貞俊
◇515　2011.2　B5　8p
2月行事案内　世界の旅展
北欧の旅（スケッチ）　福川　良
憧れのアンコールワット　西宮　喜夫
伊勢参宮本街道を歩く(48)／東海
道新景観(10)　吉井　貞俊
◇516　2011.3　B5　8p
3月行事案内　自然と歴史の宝庫
湖西・鯖街道を訪ねる
自然と歴史の宝庫
湖西・鯖街道を訪ねる　山下　忠男
伊勢参宮本街道を歩く(49)／東海
道新景観(11)　吉井　貞俊

◆播磨学紀要　播磨学研究所
〒670-0032兵庫県姫路市新在家本町1-1-22
兵庫県立大学新在家キャンパス内
℡079-296-1505　年2000円　1995年創刊
◇15　2010.12　B5　101p　500円
工業地帯開発に伴う港湾の大規模
化とそのインパクト—播磨工業
地帯の開発プロセスを中心に　林　昌宏
翻刻　室津惣会所文書
室津惣会所文書［明治元年］
辰大帳／室津惣会所文書［明
治2年］　巳大帳
解読文「室津惣会所文書」
巳大帳(明治2年)
たつの市御津町「室津本陣文書を読む会」

◆歴史と神戸　神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4　田中
印刷出版内　℡078-871-0555　年3000円
◇284（50-1）2011.2　A5　48p　600円
《特集　西摂の前近代》
動乱期の青少年教育史話　ああ筒
台の辺に—戦中戦後を生きた中
高生の記録(2)　森田　修一
五山僧　心田清播と摂津　有馬氏
片岡　秀樹
尼崎藩士松平権之助家の墓碑を尋
ねて　岸添　和義
地名研究(99)　三田・宝塚の地名
探索　宝塚—境界と地名(3)
羽束山(三田)・波豆(宝塚)　渋谷　武弘
書評　三木城跡及び付城跡群学術
調査検討委員会編『三木城跡及
び付城跡群総合調査報告書』　渡邊　大門
兵庫の庭園再訪(3)
みとろ苑庭園について　西　桂

◆あかい奈良　グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4　℡0742-62-
3408　年2500円　www.akai-nara.net
◇50　2010.12　A4　46p　500円
特集　残していきたい奈良
伝えていきたい奈良　あかい奈良編集局
あかい奈良インタビュー
宗教学者　山折哲雄氏
あかい奈良が行く古社寺巡礼　天
平伽藍への憧憬　奈良市興福寺
大和モノまんだら
モノまんだら断章　鹿谷　勲
大和彩食館　奈良で出逢ったしあ
わせの一皿　甘くておいしい
「幻のねぎ」がイタリアンに
あかい奈良スタッフがおすすめす
る奈良三選
季の瞬　六花　矢野建彦／矢野桃苑

◆大美和　大神神社
〒633-8538桜井市三輪　℡0744-42-6633
www.oomiwa.or.jp
◇120　2011.1　B5　84p
頌　春　鈴木　寛治
持統天皇の伊勢行幸　加藤　静雄
纒向とそのあとさき　若井　敏明
三輪山セミナーイン東京講演録
纒向遺跡の大型建物と邪馬台国
白石太一郎
三輪の神と須恵器生産　菱田　哲郎
三輪山セミナー講演録
邪馬台国と卑弥呼の衣服　武田佐知子
皇居勤労奉仕に参加して　藤原　豊和
講本講社90周年講社崇敬会大祭の
報告

中国・四国

◆郷土石見　石見郷土研究懇話会
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方　℡0855-22-2567
◇85　2010.12　A5　128p　1200円

《創刊35周年記念号》
特報 「もう１つの石見銀山」
—久喜・大林銀山について　吉川　正
夭折の詩人「増野三良」小伝(中)
岩町　功
邑智郡南部地域のタタラ製鉄　森岡　弘典
戦中・戦後の原井国民学校(小学校)—戦時教育から一転、民主教育の大実験　吉田　豊明
私の自分史　朱山　昇
幕末の長州戦争における農民達の負担　和田　孝
「新町市区創設之碑」—わが町の碑
森脇　登
日本はよい国だ　志波　健二
牛馬市跡　大山　博子
いもがゆ　今浦　敏江
邑智郡桜井庄日和村妙見社の慶長十二年棟札(2)—社殿修復工事棟上げ棟札・大施主寺本伝蔵　久守　藤男
石見銀山佐毘売山神社の社領　山根　勝
文芸　みちのく綺譚　佐々木徳次
文芸　あたん　ふじもときんや
その他　平成22年度石見郷土研究懇話会瑞穂大会／受賞記念講演・地元研究発表要旨／第20回「郷土石見文化賞」受賞者プロフィール

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28　光珍寺内
TEL086-222-2028　年2000円　2002年創刊
◇37　2011.2　A4　10p
史談会十年の歩みを顧みて　柴田　一
天神山落城の年代をめぐって　大西　泰正
比企谷・池上・身延三山詣道中日記に読む中世の新保港と松田屋敷　矢吹　壽年
戦国時代(上)　市川　俊介
宇喜多氏の城々(5)　初期戦国大名の居城・三石城跡　出宮　徳尚
物語直家記伝　乙子の城　第9回衣襴の屋敷(3)　山重十五郎
「第二回 戦国の貴公子　宇喜多秀家☆フェス」のご報告／平成23年度宇喜多史談会総会開催通知
石渡　隆純

◆岡山地方史研究　岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36　村上岳方
TEL086-942-6156　年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇122　2010.12　B5　36p
美作国江見氏の基礎的研究　渡邊　大門
研究ノート
豪姫のこと　大西　泰正
松田翠崖屏風の下貼り文書について—河合家文書の発見　内池　英樹
史料紹介　池田光政の「妙心寺ノ事因州へ申遣書付」について　倉地　克直

◆岡山藩研究　岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部　紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
◇64　2011.2　B5　12p
〈第31回全体会の記録〉
報告要旨　小藩における藩政改革—寛政期の小諸藩を事例に　中西　崇
討論要旨
参加記 「小藩における藩政改革—寛政期の小諸藩を事例に」を聞いて　福澤　徹三

◆芸 備　芸備友の会
〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方　1973年創刊
◇38　2010.12　B5　70p　1000円
《特集　古墳の地域相研究3》
「考古学から見た郷土の歴史」講座の報告
最古級の前方後円墳・尾ノ上古墳　福島　政文
掛迫6号古墳について　篠原　芳秀
中馬八ッ塚古墳群の測量調査報告
脇坂光彦／安間拓巳
三次市志幸町幸利遺跡について—三谷郡衙推定地の建物遺構と土器様相　中山　学
国史跡・寺町廃寺跡の整備・活用と展望　脇坂　光彦
遺跡・文化財の動向　芸備友の会

◆芸備地方史研究　芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3　広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643　年3000円
◇274　2011.2　A5　38p
大永七年九月の備後国衆和談と山名理興(上)　木下　和司
歴史余論　備後国の渋川領小童城の宝篋印塔について　植田　崇文
新刊紹介　三浦正幸著『日本の宝鞆の浦を歩く』　下向井紀彦
動向　新聞記事から(2005年1月～6月)／広島県の地方史研究
芸備掲示板
平成22年度スポット展示「中世からつながる漁具の系譜—広島県立歴史民俗資料館所蔵江の川の漁具—」　広島県立歴史博物館
特集展「ひな人形と春の書画展」
頼山陽史跡資料館
平成22年度収蔵文書展「激動の時代　幕末維新の広島と古文書」　広島県立文書館
史跡をあるく　実際寺

◆山城志　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157　1982年創刊
◇20　2011.2　A4　124p
特集　神辺町西中条所在今大山城跡の調査報告
今大山城と宮氏　田口　義之
今大山(遍照寺)城跡測量調査報告　坂本　敏夫
備後の大永～天文年間前期の戦国史を見直す　木下　和司
幕末の村落「神石郡父木野村」を例に　杉原　道彦
後南朝の歴史—五百年の哀史と執念　出内　博都
日本書紀の編纂方針　根岸　尚克
紀行文　戦国三好党を訪ねて(4)　三好　勝芳
史料紹介　備後國安那郡社領寺領
小林　定市
「山城志」手書き版目次
別冊　備陽史探訪の会　行事案内3月号

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157　www3.plala.or.jp/big-eye/
◇158　2011.2　A4　16p
杉原盛重の謎　田口　義之
備後の神嶋村伝説(1)（遺稿）　小林　定市
追悼記　藤波平次郎
神辺平野の条里制地名　根岸　尚克
明治38年の今津村役場「上司往復書」の解読報告　岡田宏一郎
鞆津　寺院の変遷(1)　概説　高木　康彦

写真で視る郷土探訪（福山市鞆町）　田口　由実
例会報告　歴史の風薫る晩秋の福田庄を訪ねて　永久　信吾
会員便り　N・Y
随想　中世戦国山城探訪1000城を目指して　末森　清司
読者投稿
此の国の在り方　後藤　匡史
雑感　門田　幸男
随想　戦場カメラマン　渡辺陽一氏の講演から　種本　実
総会報告　平成23年度総会

◆広郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内　TEL0823-71-0706
1998年創刊
◇101　2011.1　A4　18p
呉市清水2丁目の神応院本堂　上河内良平
日韓併合から101年　朝鮮李王朝王妃「閔妃」暗殺事件と呉市の関わりから　禹範善と禹長春父子の生涯—角田房子著「閔妃暗殺」と「わが祖国」による講釈台本　講釈師・緩急車雲助こと　久保　浩之
藤田家文書　第Q章　藤田家財産目録・起業資料集と関連文書Q-1広島水力発電所基本資料（7）　小栗　康治
古文書部会・例会報告　吉田　顕治

◆みよし地方史　三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
新祖隆太郎方　TEL0824-44-2694
◇83　2010.12　B5　16p
三次盆地の前方後円墳（2）宮地西古墳　加藤　光臣
明治20年ころの備北農村藤村俊太郎遺文（1）
粟屋隆信伝説考　新祖隆太郎
三次地方の地名あれこれ（17）　坂根峠・火打坂（さかねとうげ・ひうちさか）／凌木（しのぎ）・おかんど原

◆わが町三原　みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇238　2011.1　B5　16p
今月の各地　新年のご挨拶　上田　嘉信
浄瑠璃本『みはら物語』　福岡　幸司
浄瑠璃本『みはら物語』漢字入文　一
角屋と上月氏（5）　上田茂／大谷和弘
三原英学史考（1）　田邊　達雄
◇239　2011.2　B5　12p
今月の各地　鬼の豆　上田　茂
浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換文（2）　福岡　幸司
法常会を拝観して　川上　哲司
角屋と上月氏（6）　上田茂／大谷和弘
三原英学史考（2）　田邊　達雄
◇240　2011.3　B5　12p
今月の各地かなしみの出雲路（2）　恵本　慧
隠れキリシタン灯篭（花の膝栗毛第七コースBより）　福岡　幸司
角屋と上月氏（7）　上田茂／大谷和弘
三原英学史考（3）　田邊　達雄

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園　TEL088-668-3636
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇81　2010.12　A4　8p
サンチャゴ・デ・コンテンポラス大聖堂　長谷川賢二
Culture Club　モノに神霊を宿らせる話—いわゆる「依代」について　磯本　宏紀
文化の森総合公園開園20周年記念企画展「聖地★巡礼　自分探しの旅へ」
情報ボックス　トロトロ石器　高島　芳弘
野外博物館　特定外来生物に注意!!　セアカゴケグモとアルゼンチンアリ　山田　量崇
Q＆A　バナナが光るって本当ですか？　小川　誠

◆秦史談　秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方　TEL088-875-6671
◇161　2011.1　B5　63p
表紙解説　ウサギ・土鈴によせて　松下　政司
流離譚　安岡章太郎を読んで　安藤　美智
招福信仰こぼれ話　広谷喜十郎
雪の声（俳句）　西方　郁子
高知医科大、神経内科に受診していた時の体験　田中小代子
伊呂波丸事件と龍馬（3）　岩﨑　義郎
荒城の月—土井晩翠と妻八枝　毛利　俊男
民権ばあさん物語「馬とはちきんさん」（11）　英国軍艦イカルス水夫殺害事件　久米生太子／藤本知子
ローカル・ジャーナル（『高知新聞』より）
斉明天皇と朝倉について　広谷喜十郎
地名往来　政処　中世豪族の役所跡（『高知新聞』より）
お龍さんは裸だった？　松本　紀郎
かいつりさん（「土佐の民話」市原麟一郎編から）　藤本　知子
チエリ抄（15）　永国淳哉／藤本知子
秦の昔話　その24　三谷の巻　永野美智子
岡村庄造氏拓本集から（22）　岡村　庄造
秦ふれあいセンター文化祭出典一覧表

九州・沖縄

◆ふるさとの自然と歴史
歴史と自然をまもる会
〒810-0001福岡市中央区天神1-15-30
福岡市赤煉瓦文化館内　TEL092-781-7802
1971年創刊
◇338　2011.1　A4　32p　500円
平成23年を迎えて　阿部　眞也
続・野村望東尼書簡見つかる！（45）　すでに凶事変事の予兆甲子革命の改元　暴発を未然にふさぐと奔走する福岡藩　小河扶希子
福岡の通史　青木　晃
八葉石から神籠石へ古代山城遺跡の名称起源　小澤　太郎
いしぶみ訪問（130）大手門1丁目から舞鶴3丁目へ　那須　博
植物と人・生きもの達（11）　往年の大映画俳優・大河内傳次郎生家のコウヨウザン　井上　晋
福岡のむかしばなし（116）背振山のお話　青木　晃
黒田別邸の四季　大野満壽子
日本の近代化を支え続けた門司港　坂本　正行
花　スイセン　安部　道郎
美術館・博物館等文化施設だより／探訪と催し

◆末盧国　松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549　年2000円
◇184　2010.12　B5　28p
石造十一面観音立像　志佐　惲彦
三河守の最期は慶長元年　塚本　三郎
大村領主大村純伊と加唐島
—「大村寿司」誕生秘話　熊本　典宏
坂本平太郎さんの日記から(2)
帆立貝の集団移動　堀川　義英
考古学における唐津地方研究の成
果(18)　ものと生活(5)　アワ
ビオコシ(2)　田島　龍太
殿様を困らせた大盗賊(3)　岸川　龍
五大老の知行宛行状　寺沢　光世
長谷川雪旦の「西国写生」(4)　福井　尚寿
特集・秋の史蹟探訪
和泉・大和路の旅　佐々木市太郎
川柳が往く　史談会秋の旅行　坂本兵八郎
般若寺余話　松本　和典
秋の史談会の旅　花野俳句会
事務局だより

◆鹿児島民俗　鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方　TEL099-253-1775
年4000円　1950年創刊
◇138　2010.12　B5　72p
表紙解説　武士踊二葉のハガキ
(大武進氏所蔵)について　所崎　平
やんぐりどん(弥五郎殿)を考える
—岐阜県山県郡高富町隼人神社
の祭　所崎　平
みんぞく・かわらばん
民俗療法の本　牧　民郎
神代・綿津見ロマン　牧　民郎
みんぞく・かわらばん
「藤衣を脱ぎ捨てる」とは　牧島　知子
資料　鹿児島の昔話(2)—続・荒
武タミさんの昔話から　下野　敏見
アワビと鎖国・開国私考(続)　小川　三郎
旧川辺町の太鼓踊　所崎　平
伝承芸能キャンペーン報告　所崎　平
北海道での竜蛇の話探訪記覚書
(2)　本田　碩孝
みんぞく・かわらばん
「池ゑど・籠さこ御法度之事」　所崎　平
霧島修験　空順法印の日記につい
て(8)　森田　清美
会計報告・学会活動報告・編集後
記・元寇募集要項

◆宮古研究　宮古郷土史研究会
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8　下地
和宏気付　TEL0980-72-9963　1978年創刊
◇11　2010.12　B5　238p
《宮古郷土研究会設立35周年記念号》
巻頭言　下地　和宏
調理法からみた先島諸島の先史時
代　砂川　史香
宮古・八重山諸島における12～16
世紀の埋葬遺構集成　久貝　弥嗣
「野原岳の変」について考える
—1532年説を見直すために　下地　和宏
宮古研究に関わった人々(2)
〈日本民俗学の祖〉柳田國男　仲宗根將二
「宮古の地名」を歩く(2)
史料と伝承にみる地名　仲宗根將二
近代殖産興業政策と宮古上布　粟国　恭子
宮古の神話研究序説　宮川　耕次
狩俣の暮らし—集落生みの女神・
その由来譚　奥濱　幸子
宮古島市・西原のシートゥガンニ
ガイ(生徒神願い)　上原　孝三
十四歳で遭遇した太平洋戦争　久貝　愛子
戦後宮古の文化活動—社会教育・
文化施設を中心に　砂川　幸夫
研究余滴
窪徳忠先生—宮古は「かまど神」
の研究—逝く　仲宗根將二
宮古の唐芋持渡年を裏付ける人
口の急増現象　仲宗根將二
巨人説話　本永　清
1611年の宮古の人口(推定)　下地　和宏
子守(ファームリャ)と子守唄
(ファームィアーグ)　上地　洋子
宮古の糖業と農民運動　友利　定雄
「マレビト」の系譜—パーント・
プナハ出現の由来　岡本　恵昭
「往にし方の宮古上布」に学ぶ　仲間　伸恵
宮古郷土史研究会　2006～2010年
度のあゆみ　砂川　幸夫

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8
下地和宏気付　TEL0980-72-9963
◇182　2011.1　B5　6p
2月定例会レジュメ　砧打ちから
みえる宮古上布＝提言　砂川　猛
狩俣の民謡「ンナグズ　ヌ　イサ
ミガ」考—11月定例会のまとめ
仲宗根浩二
「消えた記憶」に向き合う作業
近代殖産興業政策と宮古上布
—12月定例会のまとめ　粟国　恭子
『宮古研究』第11号発刊／2010年
忘年会
宮古郷土史研究会設立35周年記念
『宮古研究』第11号発行祝賀会　下地　和宏
戦後宮古研究のあけぼの　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆流れる五戸川　続21
ふるさとの歴史ある48景
三浦榮一著（〒039-0168　青森県三戸郡五戸町字一本木5-1　電話0178-62-3463）2010年12月　B5　177頁
2010年1月から10月まで青森県五戸町の『広報五戸』に連載された「ふるさとの歴史ある48景」と「消えゆく先祖の足跡」の追跡調査をまとめる。平成21年度青森県文化賞受賞。ふるさとの歴史ある48景／消えゆく先祖の足跡／五戸地方の社会年表
◆注釈 遠野物語拾遺　上
石井克己監修　遠野物語研究所（〒028-0513岩手県遠野市中央通り2-11　TEL0198-62-0809）2011年1月　A5　132頁
遠野物語研究所が長年にわたり進めてきた「遠野物語拾遺」の注釈研究の集大成。昭和10年(1935)の『遠野物語　増補版』に収録された299話のうち、本書には101話を注釈・解説を付して収録する。発刊100年に出される金字塔(石井正己)／封建神話／地名由来譚Ⅰ／地名由来譚Ⅱ／いろいろな植物／鐘ヶ淵伝説／女と水の神／入水伝説／神秘の水辺／雨降らしの泉／ハヤリ神／飛行する神／子供と遊ぶ神／権現様／火防の神／里の神々／屋内の神／座敷ワラシ／家の霊／山の神／天狗／聞き取り・調査者など
◆読み下し文 巡見記
岩手県文化財愛護協会編・刊（〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34　岩手県立博物館内　TEL019-661-9688）2010年12月　A5　110頁
「戊辰戦争書留」(1999年)をはじめ「北奥路程記」、「蝦夷日記」、「漂流記」につづく読み下し文5冊目。岩手県文化財愛護協会主催の平成18・19年度の古文書翻訳講座から、幕府の巡見使一行が盛岡藩領二戸—紫波地方、仙台藩領の水沢—江刺痴話于、田村藩領の岩手県南部での見聞、案内者との問答などを記した

「奥羽松前巡見記録」(岩手県立博物館・岩手県立図書館・盛岡市中央公民館所蔵)を、用語解説とともに読み下し文にて収録する。読み下し余話　巡見制度の狙い(木村良夫)／仙台藩の塩づくり(木村良夫)／巡見使の死(小川桂史)／少ない女性の人口(菊地淳)／「巡見道筋」を探訪(編集委員)

◆秋田県庁文書群目録8　昭和10年～22年
秋田県公文書館編・刊（〒010-0952　秋田市山王新町14-31　℡018-866-8301）2011年3月　A4　250頁
廃藩置県以後、明治5年3月の開庁から昭和22年の地方自治法施行までを第１期として目録化している秋田県庁文書群目録の第8集。昭和10年2月6日、同15年1月12日、同16年2月3日、同17年7月1日、同17年11月1日、同19年7月8日、同21年2月1日、同21年11月18日の組織改編下で作成された簿冊群を収録する。付録：秋田県庁組織変遷表（昭和10年～22年）

◆佐竹文庫目録(秋田藩関係文書Ⅰ)　秋田県公文書館所蔵古文書目録7　資料群目録2
秋田県公文書館編・刊（同上）2011年3月　A4　438頁
秋田県立秋田図書館に旧蔵されていた佐竹宗家からの譲渡資料「佐竹文庫」5864点を収録した目録。近世佐竹家資料　1365点（領知・叙任、佐竹氏系図、佐竹家譜、冠婚葬祭、日記・書状、大名書状、その他)／修史編纂関連資料　1158点（系図・由緒書、御記録方資料、国典類抄)／近世秋田藩資料　1257点（幕府・諸藩、秋田領内支配、江戸御用状、その他)／幕末維新秋田藩資料　1299点（幕府・朝廷・諸藩、戊辰戦争、新政府・諸藩、秋田領内支配、御手控、宇都宮孟綱日記)／近代佐竹家資料　785点（冠婚葬祭、家政、通達・届書、華族、戊辰戦史編纂、その他)

◆『春秋山伏記』と庄内
鶴岡市立藤沢周平記念館編・刊（〒997-0035　山形県鶴岡市馬場町4-6　℡0235-29-1880）2010年12月　A4　32頁
鶴岡市立藤沢周平記念館の第2回企画展図録。昭和52年(1977)1月から12月まで、雑誌『家の光』に連載された時代小説『春秋山伏記』を取り上げ、鶴岡・庄内の歴史・風土を描いたその魅力とともに、作品の背景などを紹介する。『春秋山伏記』と庄内(遠藤展子)／作品紹介／『春秋山伏記』という物語／『春秋山伏記』に息づく南庄内のおもかげ／『春秋山伏記』を通した交流／再録　対談インタビュー　大関弘政×藤沢周平／企画展関連事業／展示資料目録

◆小玉川　東北一万年のフィールドワーク4
チーム「あるく・みる・きく」編　東北芸術工科大学東北文化研究センター（〒990-9530　山形県山形市上桜田200　℡023-627-2168）2011年3月　B5　48頁
文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」として取り組んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」の報告書第4集として、山形県西置賜郡小国町小玉川を取り上げる。小玉川伝統と近代／山の湯／山の恵み／狩人たち／発電所と鉱山／地域の学び舎／小玉川アーカイブス

◆東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究　文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」平成22年度研究成果報告書
東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊（同上）2011年3月　A4　114頁
『平成22年度研究成果報告書』刊行にあたって(田口洋美)
〔第１部〕　研究の進捗状況　プロジェクト1「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」　民俗班における研究の進捗状況(田口洋美)／歴史班における研究の進捗状況(入間田宣夫・竹原万雄)／考古班による研究の進捗状況(北野博司・福田正宏・安斎正人)／プロジェクト2「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」(岸本誠司)
〔第２部〕　調査・研究成果報告　秋田県由利本荘市鳥海町「本海番楽」調査報告(菊地和博)／公園報告　イノシシとの新たなつきあいに向けて(蛯原一平)／公園報告　なぜクマの出没は起こるのか(田口洋美)／史料紹介　明治中期の飛島に生じた「生業知」の問題を伝える「当島雑記録」(中村只吾)／縄文土器のデザイン(石井匠)
総括(田口洋美)／本事業に関する調査・研究実績一覧(平成22年度)／本事業に関する新聞記事等掲載一覧(平成22年度)

◆山形の民話に学ぶ—伝統的な言語文化教材開発のために　平成22年度総合的道徳教育プログラム報告書
石井正己編　東京学芸大学（〒184-0015　東京都小金井市貫井北町4-1-1　東京学芸大学石井正己研究室）2011年2月　A5　68頁
2010年10月23日(土)に開催された東京学芸大学フォーラム「東北・山形の民話」の報告集である。民話と道徳教育(石井正己)／山形の民話を迎えて(野村敬子)／今、山形の民話が熱い！(石井正己)／昔話とのつきあい五〇年(武田正)／山形県置賜地方の語り(山路愛子)／山形の民話再刊事業を通して(佐藤晃)／山形民話批評集(石井正己)

◆茨城県立歴史館史料叢書14
一橋徳川家文書　覚了院様御実録Ⅰ
茨城県立歴史館史料学芸部編　茨城県立歴史館（〒310-0034　茨城県水戸市緑町2-1-15　℡029-225-4425）2011年3月　A5　472頁
茨城県立歴史館所蔵の5400点を超える一橋徳川家文書のうち、一橋徳川家初世宗尹の誕生(享保6年〈1721〉)から没後七回忌にあわせて贈位のあった明和7年(1771)12月までの編年体による記録「覚了院様御実録」全15巻を翻刻。本書には、一橋徳川家創設期にあたる宝暦7年(1757)宗尹37歳までの巻一から巻八を収録する。解題(笹目礼子)／覚了院様御実録　巻一～巻八／人名索引

◆中世東国史の総合的研究　千葉大学人文社会学研究科研究プロジェクト研究成果報告書162
佐藤博信編　千葉大学大学院人文社会学研究科（〒263-8521　千葉市稲毛区弥生町1-33）2011年2月　A4　117頁
はじめに—研究会の活動を振り返って(佐藤博信)／室町期千葉氏に関する覚書—胤直期を中心に(石橋一展)／千葉胤富・邦胤の花押と印判に関する一考察(滝川恒昭)／「原文書」と戦国期の海上氏(外山信司)／古河公方文書に関する覚書—特に闕字・平出・台頭をめぐって(佐藤博信)／房総半島中部にみられる戦国期耳かわらけについて(予察)(簗瀬裕一)／石橋一展「室町前期の東国における内乱の再検討—小山氏、小田氏の乱と鎌倉府—」を読む(松本一夫)／房総中世史研究阿文献目録(3)(石渡洋平)

◆岩崎文庫貴重書誌解題Ⅴ
東洋文庫日本研究班編　東洋文庫（〒113-0021　東京都文京区本駒込2-28-21）2011年3月　B5　193頁
『岩崎文庫和漢書目録』において「江戸後期及其後の刊行寫本」と分類された古典籍のうち、「和歌文合集」と「各時代に亙る歌集、歌話」にあたる貴重書についての書誌解題。本書には、万葉集関係書を除く室町時代以前の成立の本文を有する資料97件を図版とともに収録する。

◆岩崎文庫貴重書誌解題Ⅵ
東洋文庫日本研究班編　東洋文庫（同上）

2011年3月　B5　176頁
『岩崎文庫和漢書目録』における貴重書についての書誌解題Ⅵ集として、本書には万葉集関連書69件を収録する。解説　木村正辞と旧蔵本の特徴—岩崎文庫所蔵資料を中心として（大沼宜規）

◆お江と徳川秀忠101の謎

川口素生著　ＰＨＰ研究所（〒102-8331　東京都千代田区三番町3-10　℡03-3239-6233）2010年12月　文庫版　332頁　619円
お江の〈父母＆生家〉をめぐる謎／お江と〈浅井家滅亡〉をめぐる謎／お江と〈柴田家滅亡〉をめぐる謎／お江と〈三姉妹＆輿入れ〉をめぐる謎／お江と〈徳川秀忠〉をめぐる謎／お江の〈息子＆娘〉をめぐる謎Ⅰ—娘・豊臣完子と息子たち／お江の〈息子＆娘〉をめぐる謎Ⅱ—お江の娘と孫娘たち／お江と〈春日局＆大奥〉をめぐる謎／お江と〈第三代将軍の座〉をめぐる謎／お江の〈晩年＆死去〉をめぐる謎／資料編

◆空襲・戦災を記録する会全国連絡会議　第40回東京大会シンポジウム「空襲・戦災を記録する会40年の歴史と今後の展望」報告書

㈶政治経済研究所付属東京大空襲・戦災センター編・刊（〒136-0073　東京都江東区北砂1-5-4　℡03-5857-5631）2010年12月　A4　109頁
2010年8月21日・22日に開催された空襲・戦災を記録する会全国連絡会議第40回東京大会（於　専修大学神田校舎）におけるシンポジウム報告集。問題提起　空襲記録運動40年の歩みの検証と継承の課題（山本唯人）／空襲・戦災を記録する会全国連絡会議の歴史と今後の展望（鬼嶋淳）／大阪湾岸地域における空襲研究の歴史と展望（佐々木和子）／空襲体験者を中心とする語り継ぐ運動の歴史と展望—富山を中心に（和田雄二郎）／空襲・戦災を記録する活動の最近の成果と「空襲通信」の役割（工藤洋三）／平和のための戦争資料館運動の現状と展望—『ピースあいち』から（金子力）／コメント　米軍資料研究を中心として（中山伊佐男）、第40回大会の諸報告に想う（今井清一）／発言・各地の記録する会の歴史と展望について　語り継ぐこと—今も変わらぬ思いを（神戸空襲を記録する会　中田政子）、「今治市の戦災を記録する会」活動報告（今治市の戦災を記録する会　新居田大作）／各地の空襲を記録する会のあゆみアンケート／空襲・戦災を記録する会全国連絡会議第40回東京大会の概要

◆『五箇条の御誓文』を読む

川田敬一著　錦正社（〒162-0041　東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6　℡03-5261-2891）2011年1月　A5　74頁　600円
各条を読む／時代背景／『五箇条の御誓文』ができるまで／『五箇条の御誓文』の柔軟性／むすび／資料　「国威宣布の宸翰」明治元年3月14日、「王政復古の大号令」慶応3年12月9日、横井小楠「国是七条」文久2年、『五箇条の御誓文』草案対照表、「年頭、国運振興の詔書」昭和21年1月1日、「日本国憲法前文」昭和21年11月3日公布、ドナルド・キーンによる『五箇条の御誓文』英訳、「マグナ・カルタ」、「権利憲章」（臣民の権利・自由を宣言し、王位継承を定める法律）、「独立宣言」The Declaration of Independence（1776年7月4日）、「人権および市民権の宣言」（フランス人権宣言）／五箇条の御誓文関係年表

◆自然を詠む—俳句と民俗自然誌

篠原徹著　飯塚書店（〒112-0002　東京都文京区小石川5-16-4　℡03-3815-3805）2010年12月　B6　182頁　1800円
俳諧・俳句と俗信や自然暦にあらわれる言葉とのつながりを通して、人と自然との関係について民俗学的に迫る。俳句と民俗自然誌（俳句と自然暦、取り合わせと自然暦、自然観察と俳句、歴史観察と俳句、俳句と博物誌、俳句と植物、伝承と俳句、擬人法と俳句、景観と俳句）／創造力としての俳句（生態人類学と俳諧、共感と類推の民俗自然誌、蕪村と自然）

◆第4回シンポジウム「帝国と空襲—イギリス・台湾空襲を検証する」報告書

㈶政治経済研究所付属東京大空襲・戦災センター戦争災害研究室編・刊（〒136-0073　東京都江東区北砂1-5-4　℡03-5857-5631）2011年3月　A4　112頁
2007年から始まった共同研究「東京大空襲体験の記録化と戦争展示」の最終年度にあたり、2010年10月23日に開催された第4回シンポジウムの報告書。これまでは充分に扱えなかったドイツ軍によるイギリス都市空襲、アメリカ軍による台湾都市空襲を取り上げる。問題提起（大岡聡）／イギリスの博物館における空襲の展示について—ロンドン・コベントリーを中心に（山根和代）／第二次世界大戦中の台湾への空襲（洪致文）／討論概要

◆マグロの文化誌

田辺悟著　慶友社（〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-48　℡03-3261-1361）2010年10月　B6　261頁　2800円
プロローグ／マグロの食文化入門（マグロと食文化、「シビ」という方言・地名、江戸前の鮨とマグロ、大間の豪快なマグロ一本釣、マグロの戸籍調べ、マグロの産卵、縄文の魚食文化と弥生の米食文化、マグロの料理、マグロを運ぶ）／マグロ漁の歴史と民俗（マグロ漁の歴史、江戸周辺のマグロ漁、神・仏になったマグロ、マグロ網の改良と庄屋の芝田吉之丞、マグロ漁と遭難、マグロ漁〈漁船〉の遠洋化、マグロ漁船の近代化、マグロに賭けた男たち）／紙上「マグロの博物館」（東京湾にもマグロはいた、マグロ漁にかかわること、マグロの釣鈎、マグロの和名と英名など、マグロと大漁祝（万祝）、マグロの絵馬、切手になったマグロ、コインになったマグロ、マグロの加工品・缶詰、地中海のマグロとボッタルガ、マグロの水揚げ・輸送と「トロ箱」、カジキ・マグロ漁（突ン棒）漁、ホビーで釣るマグロ、マグロの見方・選び方、マグロ・漁獲制限と輸出禁止）／エピローグ

◆柳田国男と学校教育
　教科書をめぐる諸問題

杉本仁著　梟社（〒113-0033　東京都文京区本郷2-6-12-203　℡03-3812-1654）2011年1月　A5　435＋8頁　3500円
はじめに／戦後教育への出発（世を改める教育へ、民俗学研究所と教育）／社会科教科書（成城学園のカリキュラム、小学校教科書『日本の社会』、検定不合格中学校社会科教科書『社会』）／国語教科書（語彙主義と国語教育、小学校国語教科書、中学校国語教科書、高等学校国語教科書、国立国語研究所）／柳田教育学の挫折（教育現場での退却、民俗学研究所の動向、民俗学研究所の瓦解）／柳田民俗学の継承とその可能性（民俗学界の対応、柳田教育学の実践）／共同社会の理想と柳田教科書（老人を敬う島—神島、放擲される民俗、想起する歴史）／引用文献・参考文献一覧／あとがき／人名索引

◆ある兵士の軍隊日記（上）
　藤沢市史料集34

藤沢市文書館編・刊（〒251-0054　神奈川県藤沢市朝日町12-6　℡0466-24-0171）2010年3月　A5　108頁
日中戦争期からアジア太平洋戦争の初期にかけて、中国南部およびフランス領インドシナ（本書ではベトナム地域）に進駐した部隊の一員であった藤沢市域出身の兵士・小泉が記した日記のうち、昭和15年12月20日から翌16年7月18日までの第1冊目を収録する。解説　兵士・小泉および彼の日記（第一冊目）について／

凡例／ある兵士の軍隊日記（上）

◆藤沢山日鑑28

藤沢市文書館編・刊（同上）2010年3月　A5　383頁　4000円

遊行寺宝物館所蔵の清浄光寺伝来記録『藤沢山日鑑』翻刻版28巻である。本書には明治3年（1870）から同7年の5年分を収録する。日鑑（明治3年正月）／日鑑（明治4年正月）／日鑑（明治4年4月）／日鑑（明治5年4月）／日鑑（明治5年7月）／日鑑（明治5年10月）／日鑑（明治6年正月）／日鑑（明治7年正月）／補遺　日鑑（慶応2年12月）／解説　名号と賦算（高野修）

◆「振矩術に関する調査研究」報告書

金子勉編　新潟県佐渡市教育委員会（〒952-0021　新潟県佐渡市秋津1596　両津郷土博物館内　教育委員会社会教育課　佐渡学センター　℡0259-23-2100）2010年12月　A4　161頁

佐渡における鉱山測量術である「振矩術」と振矩師たちについて、阿部誠之著『校正振矩術』（文化8年〈1811〉）をはじめとする基礎資料を集約した調査報告書。振矩術／阿部誠之の『校正振矩術』／『校正振矩術』の内容／和算部分／大蔵家『諸算術集』の「振矩術」／『青木家振矩術書』／振矩術の具体例／振矩術と規矩術／資料　阿部誠之『校正振矩術』、『諸算術集』の「振矩術」、『青木家振矩術』、山本仁兵衛『振矩　方位術』

◆本間寅雄著作目録

斎藤武彦・斎藤純子・北見継仁編　本間寅雄著作目録編纂委員会（〒950-0824　新潟市東区中島1-7-2-1006）2011年1月　A4　122頁

佐渡博物館館長や新潟県文化財保護審議会委員などを務め、佐渡の郷土研究に数々の足跡を残した本間寅雄（磯部欣三）氏（1946～2007）の著作目録。『回想 磯部欣三』（2007年7月刊）に収録された「磯部欣三著作目録」をもとに増補・改訂する。

◆白山　石川の歴史遺産セミナー講演録　第5回～8回

石川県立歴史博物館編・刊（〒920-0963　金沢市出羽町3-1　℡076-262-3236）2010年3月　A4　154頁

石川県立歴史博物館の主催による平成21年度「石川の歴史遺産セミナー」の講演録。

刊行に当たって（脇田晴子）

〔第5回　白山麓の真宗〕2月1日　日本における神仏関係（北西弘）／白山麓山内と真宗信仰（木越祐馨）／近世の真宗信仰と白山信仰—白山麓を中心に（澤博勝）

〔第6回　参詣と巡礼—中世霊場論〕5月30日　中世の白山参詣（東四柳史明）／参詣・巡礼の歴史的展開（長谷川賢二）

〔第7回　女性をとりまく宗教世界〕7月25日　女人禁制をめぐる諸問題（鈴木正崇）／古代中世仏教における女人救済と女性差別（平雅行）／立山信仰と布橋大灌頂（福江充）

〔第8回　白山をめぐる今後の課題〕12月5日　生業環境としての白山—奥山人は白山で何をして稼いでいたか（橘礼吉）／白山比咩神社と加賀藩（木越隆三）／加賀馬場の山岳寺院と行場（垣内光次郎）

◆能登　石川の歴史遺産セミナー講演録　第9回～11回

石川県立歴史博物館編・刊（同上）2011年3月　A4　131頁

石川県立歴史博物館の平成22年度「石川の歴史遺産セミナー」の講演録。

刊行にあたって（脇田晴子）

〔第9回 港湾都市の形成と日本海〕5月29日　二つの「内海」と潟・河川・道—中世北東日本海を中心に（高橋一樹）／北東日本海煙害地域の物流（水澤幸一）／第9回パネルディスカッション要旨

〔第10回 気多神社と北陸の地域社会〕9月12日　中世諸国一宮制と能登国一宮気多神社（井上寛司）／出雲大社と気多神社（森田喜久男）／近世初期の能登一宮気多社—前田家とのかかわりを中心に（塩崎久代）／第10回パネルディスカッション要旨

〔第11回 能登と北海道・満州移民〕11月14日　石川県の北海道移民と能登（新本欣悟）／満州移民研究の諸問題（小林信介）／『石川県満蒙開拓史』によせて（栃木英道）／第11回パネルディスカッション要旨

◆富士の女神のヒミツ

富士吉田市歴史民俗博物館編（〒403-0005　山梨県富士吉田市上吉田288-1　℡0555-24-2411）　富士吉田市教育委員会刊　2010年8月　A5　34頁

富士吉田市歴史民俗博物館平成22年夏の企画展「富士の女神のヒミツ」の解説書。富士山には神さまがいる？／木花開耶姫命／神さまの最初の名前／富士の神＝かぐや姫？／木花開耶姫の登場／女神のご利益／安産の女神／神さまのお使い

◆愛知県史　資料編13　織豊3

愛知県史編さん委員会編　愛知県（〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13　愛知県庁大津橋分室　総務部法務文書課県史編さん室　℡052-972-9171）2011年3月　A5　918＋64頁

平成6年度からの新『愛知県史』編さん事業による今年度の第13回配本として3冊刊行。本書には、古文書・古記録・著作物・経巻聖教類・金石文などのうち、天正18年（1590）8月から慶長5年（1600）までの尾張・三河両国に関する文書・記録類397点、絵画墨書銘・画賛40点、金石文108点を収録。天正18年／天正19年／文禄元年／文禄2年／文禄3年／文禄4年／特集　秀次事件／慶長元年／慶長2年／慶長3年／慶長4年／慶長5年／特集　関ヶ原の戦いと尾張・三河／『織豊3』年次未詳史料／『織豊編』年次未詳史料／花押・印章一覧／構文年表

付録（A5・68頁）：「秀次公縁起」、「関白草紙」

『愛知県史のしおり』（A5・8頁）　村からみた太閤検地帳の利用価値（木越隆三）／「御掟」「御掟追加」の連署者—いわゆる豊臣家の「大老」について（中野等）

◆愛知県史　別編　民俗1　総説

愛知県史編さん委員会編　愛知県（同上）2011年3月　A5　944＋48頁

〔地域と民俗〕「地域と民俗」序章／民俗から見た地域（山をめぐる境界と領域、三河山間部の仲人親、信仰民俗の地域差と真宗、民俗芸能と地域）／東西の民俗と愛知（衣にみる尾張・三河の地域性、入浴文化の地域性、寝宿と若者宿の民俗的特質、津島信仰の全国展開、車楽祭りの伝播と展開）

〔伝統と現代〕「伝統と現代」序章／暮らしの中の伝統（生業と権威、鍛冶・鋳物師と石工の伝統、伝統的な山林の利用と保全、衣生活にみる古型）／変容と現代（衣生活の向上と格差、書き継がれた伝統と変化、葬儀の今昔、名古屋仏壇と職人、島と海の近代化、近郊農村の変容）

〔都市と民俗〕「都市と民俗」序章／都市の生活（長屋のくらし、都市と銭湯）／都市の社会と祭礼（犬山の町内組織と犬山祭り、城下町名古屋の祭礼と町出入り、津島の町衆と津島祭り）／商家と工場（伝統的商家のくらし、職人と伝統工芸、製糸と機屋）／都市民の楽しみと文化（金魚と菊人形、盛り場の民俗、都市の接客文化と芸妓）

付録CD-ROM：愛知県民俗資料集成

『愛知県史のしおり』（A5・8頁）　ツレ（同輩集団）の民俗学（竹田旦）／民俗の記録は民族の良心（神崎宣武）

◆愛知県史　別編　文化財2　絵画

愛知県史編さん委員会編　愛知県（同上）2011年3月　A4　737頁

県内に伝尊する江戸時代までの絵画資料417点を収録。総論／各論　宗教画（釈迦と顕教尊像の絵画、密教と天台宗・真言宗の絵画、状浄土教と浄土宗・浄土真宗の絵画、垂迹画・天神図・参詣曼荼羅、禅宗の絵画、渡来仏画）、世俗画（中世絵画と明代絵画、障屏画、肖像画・武将画・合戦絵、風俗画、近世諸派、文化財の保存と利用）、尾張藩と徳川家（尾張徳川家と徳川美術館、尾張藩ゆかりの社寺）／作品解説（宗教画、世俗画、尾張藩と徳川家）／所蔵者索引／人名索引／愛知県内指定文化財一覧（絵画）／用語解説

『愛知県史のしおり』（A5・8頁）　愛知の美術と私の思い出（辻惟雄）／愛知県の文化財（絵画）と私（有賀祥隆）

◆上郡町史2　本文編Ⅱ

上郡町史編纂専門委員会編　上郡町（〒678-1233　兵庫県赤穂郡上郡町大持278　℡0791-52-1111）2011年2月　A5　951＋14頁

『上郡町史』第1巻につづいて、上郡町とその周辺の近世後半から近代・現代に至るまでの歴史、文化財・民俗についてまとめる。上郡町の近世後期（山・水をめぐる争い、村の生業と商品流通、木綿専売制の限界、交通と旅、近世の教育・文学）／上郡町の明治期（町村自治制度の形成、明治期の産業・経済、明治期の社会・教育・文化）／上郡町の大正・昭和戦前期（町政村政の展開、大正・昭和戦前期の産業・経済、大正・昭和戦前期の社会・教育・文化）／上郡町の戦後期（自治制改革と新上郡町誕生、戦後期の産業・経済、戦後期の社会・教育）／上郡町の高度成長期（上郡町政の展開、高度成長期の産業・経済、高度成長期の社会・教育・文化）／上郡町の文化財（仏教彫刻、石造遺品、金工品、絵馬、民家）／上郡町の民俗（年中行事、祭礼と民俗芸能、人生儀礼、生業と日々のくらし、山上集落の変遷、方言）／付録　赤穂郡上郡町の村々の変遷、歴代町村名／付図　萩藩「行程記」解読図、上郡村絵図　明治6年、上郡町内の主な文化財分布図

『巻報』（B6・16頁）　大鳥圭介のメッセージ（太田健一）／学習院長としての大鳥圭介（平島敏幸）／智頭線建設あれこれ（井上佳也）／上郡町教育行政の回想（田原勇）／第二巻執筆者・監修者紹介

◆講座『播磨風土記』

神崎勝著　ＮＰＯ法人妙見山麓遺跡調査会（〒679-1214　兵庫県多可郡多可町加美区的場294　℡0795-35-1173）B5

2006年8月の第1回から偶数月に開催されている「播磨風土記」講座の記録集。

第9回　賀毛郡条(3)　根日女の伝説と楢原ノ里（2007年12月、32頁）

第10回　賀毛郡条(4)　起勢里から川合里まで（2008年2月、34頁）

第26回　神崎郡を読む(2)　特論2　伊和大神と天日槍命と葦原志許乎命（2010年10月、42頁）

第27回　飾磨郡を読む(1)　本文と語釈・注釈（漢部里から少川里まで）／特論1　古代の夢前川と市川（2010年12月、38頁）

第28回　飾磨郡を読む(2)　本文と語釈・注釈（英保・美濃・因達・安師四里）／特論2　射楯神と兵主神について（2011年2月、38頁）

◆西宮の山岳信仰

西宮市立郷土資料館編・刊（〒662-0944　兵庫県西宮市川添町15-26　℡0798-33-1298）2011年2月　B5　12頁

西宮市立郷土資料館の第26回特別展示の展示図録案内。西宮市立で行われた行者講、鷲林寺と六甲山を中心とする地域の山河信仰とそこにかかわった人たちについて、聞き取り調査の成果をまじえて紹介する。はじめに／山岳信仰／西宮地方の山岳信仰／市内の寺院行事にみる山岳信仰と行者／六甲修験道

◆大和国十市郡笠神村関係史料

奈良県同和問題関係史料14

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊（〒630-8133　奈良県奈良市大安寺1-23-1　℡0742-64-1488）2011年3月　A5　199頁

江戸時代には北部が大和国十市郡大福村、南部が吉備村の枝郷という複雑な継体をとっていた大和国十市郡笠神村に関する史料のうち、江戸時代中期から昭和戦前期にいたる笠神村の草場や社寺、共同体の運営、教育、一村独立、部落改善運動、水平社運動など多様な145点の史料を翻刻・収録する。

◆長崎の部落史を歩く　フィールドワークガイドブック　時間を歩く

ＮＰＯ法人長崎人権研究所編・刊（〒850-0048　長崎市上銭座町2-7　℡095-847-8690）2011年3月　新書版　34頁

テーマごとに長崎を歩くフィールドガイドブック。長崎のまちづくり、キリシタン迫害、中国・オランダとの貿易、原爆の惨禍などとつながる長崎の部落史を歩く。崇福寺／大音寺・晧台寺／幣振坂・しととき（鹿解）川／サン・フランシスコ教会跡／サント・ドミンゴ教会跡／長崎会所跡／筑後町通り／サン・ラザロ病院跡／26聖人殉教地／中駒込小学校／聖徳寺／浦上青年会館跡／涙痕の碑

◆原爆と部落とキリシタン　フィールドワークガイドブック　見る・聞く・感じる

ＮＰＯ法人長崎人権研究所編・刊（同上）2011年3月　新書版　30頁

江戸時代、浦上山里村と呼ばれた浦上地域の歴史を歩く。平和公園1・2／聖フランシスコ・ザベリオ堂／如己堂・帳方屋敷（永井隆記念館1・2）／浦上天主堂／原爆落下中心地公園1・2／山王神社／坂本国際墓地／浦上町青年会館跡／原爆犠牲者の慰霊塔

◆後記

東日本大震災を受けて、MLAK（Museum＝博物館・美術館、Library＝図書館、Archive＝文書館、Kominkan＝公民館）施設の被災情報・救援情報を集約し、円滑な支援を実施するため、被災・救援情報サイト「saveMLAK」が開設された。既に専門知識を有する多数の関係者や支援ボランティアが、現地と適切なマッチングを図りながら、復興支援が開始されているという。その緊急討議「東日本大震災 被災支援とMLAK—いまわたしたちにできることは」が、４月23日（土）に学習院大学（目白）で開催された。仙台からバスで駆けつけた図書館員もあり、400名近い参加者があった。MALK夫々の状況報告と、文化庁から「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」についての説明があり、熱心な議論が交わされた。６人の学芸員のうち５人が亡くなった博物館など甚大な被害の様子には言葉もなかった。文化財レスキューは、国・地方の指定の有無を問わず、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料、有形民俗文化財等の動産文化財、美術品に応急の保全措置を施すもので、４月末から石巻文化センターなどに入るとのこと。損壊建物の撤去等が進む中で、時間との闘いでもある。人命救助と生活支援、ライフラインの復興が何より急がれるが、歴史・民俗資料の保全と、文化活動の拠点たるMLAKの復旧も緊切のことである。これらの活動については、夫々のホームページで見ていただきたい。（飯澤）

〔saveMLAK〕　http://savemlak.jp/

〔文化庁・文化財レスキュー〕

http://www.bunka.go.jp/bunkazai/tohokujishin_kanren/chokan_message.html

地方史情報 103　2011年（平成23年）5月　発行　http://www.iwata-shoin.co.jp
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院　〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　TEL03-3326-3757